



# TeamViewer 8 マニュアル

## リモートコントロール

---

Rev 8.2-06/2013



# 目次

1	TeamViewerについて	6
1.1	ソフトウェアについて	6
1.2	本書について	6
2	基本	8
2.1	TeamViewerの仕組み	8
2.2	TeamViewerのメインウィンドウ	8
2.2.1	[リモートコントロール]タブ	9
2.2.2	[会議]タブ	9
2.2.3	TeamViewerのメインウィンドウのメニューバー	9
2.2.4	TeamViewerのメインウィンドウのステータスバー	10
3	TeamViewerの接続の確立	11
4	リモートコントロール接続モード	12
4.1	リモートコントロールウィンドウのオプション	12
4.2	TeamViewerパネルのリモートコンピュータ用オプション	18
5	ファイル転送接続モード	20
5.1	ファイル転送接続モードのオプション	20
5.1.1	ファイル転送ウィンドウの説明	20
5.1.2	ファイル転送ウィンドウのオプション	20
5.1.3	イベントログウィンドウの説明	21
5.2	ドラッグ&ドロップによるファイルの転送	22
6	VPN接続モード	23
6.1	TeamViewer VPNの使用例	23
6.2	TeamViewer VPNの使用条件	23



6.3	VPNダイアログボックスのオプション	24
7	その他の接続オプション	25
7.1	IPアドレスを使用したLAN接続の確立	25
7.1.1	LAN接続の有効化によるネットワーク接続	25
7.1.2	パートナーのIPアドレスを使用してパートナーに接続する方法	25
7.2	Windowsユーザーアカウントを使用したリモートコンピュータでの認証	26
8	コンピュータ&パートナー-パートナーの管理	27
8.1	TeamViewerアカウント	28
8.1.1	TeamViewerアカウントの作成	28
8.1.2	TeamViewerアカウントの管理	29
8.1.3	[コンピュータ&パートナー]でのTeamViewerアカウントのログインとログアウト	29
8.2	[コンピュータ&パートナー]のオプション	30
8.2.1	コンピュータ/パートナーのオンラインステータス	32
8.2.2	グループの追加	32
8.2.3	共有グループ	32
8.2.4	コンピュータ/パートナーの追加	34
8.2.5	[コンピュータ&パートナー]からのクイック接続の確立-接続要求	37
8.2.6	コンピュータまたはパートナーのコンテキストメニュー	38
8.2.7	[コンピュータ&パートナー]を使用したチャット	38
8.2.8	TeamViewer QuickSupportのカスタムモジュールによる接続前のチャット	41
9	マルチメディア機能	42
9.1	[セッションリスト]内のオプション	42
9.2	VoIPを使用してパートナーとの会話	42
9.2.1	音声をパートナーに送信する方法	42
9.2.2	音声オプション	43
9.3	パートナーへのWebカム動画の送信	43
9.3.1	動画をパートナーに送信する方法	43
9.3.2	動画オプション	44
9.4	TeamViewerセッションでのパートナーとのチャット	44
9.5	TeamViewerセッションでの電話会議の開催	44
9.6	TeamViewerセッションでのファイルの共有	45
9.7	音声と動画の送信	45
9.8	TeamViewerセッションの記録	46



10	その他の機能 .....	48
10.1	アクセス権限-TeamViewerセッションでの操作の制限.....	48
10.1.1	アクセスコントロール機能 .....	48
10.1.2	アクセスコントロールモードの詳細オプション.....	50
10.2	リモートコンピュータでのTeamViewerの更新.....	52
10.3	リモートコンピュータに関する情報の表示.....	53
10.4	現在の接続に関する情報の表示 .....	53
10.5	ライセンスの使用に関する情報 .....	54
10.6	リモートコントロールセッションの引き渡し.....	54
10.7	リモート印刷 .....	55
11	TeamViewerモジュール .....	56
11.1	TeamViewerフルバージョン .....	56
11.2	TeamViewer QuickSupportモジュール .....	57
11.2.1	QuickSupportモジュールのオプション .....	57
11.3	TeamViewer QuickJoinモジュール .....	58
11.4	TeamViewer Hostモジュール .....	58
11.5	TeamViewer Portable .....	59
11.6	TeamViewer Manager .....	59
11.7	TeamViewer MSIパッケージ .....	59
11.8	TeamViewer Management Console .....	59
11.9	モバイルデバイス (Android、iOS)でのTeamViewerの使用.....	60
11.10	カスタマイズ可能なモジュール .....	60
11.10.1	QuickSupportのカスタムモジュールの作成 .....	60
11.10.2	Hostのカスタムモジュールの作成 .....	63
12	インストールと設定 .....	65
12.1	TeamViewerフルバージョンのインストール.....	65
12.2	WindowsシステムサービスとしてのTeamViewer.....	66
12.2.1	WindowsアプリケーションとWindowsシステムサービスとの相違点.....	66
12.2.2	TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定する方法.....	67
12.3	ターミナルサーバーでのTeamViewerの使用.....	67
12.3.1	ターミナルサーバーを使用する場合のTeamViewerの特別なライセンス条件.....	68
12.4	TeamViewerライセンスの有効化 .....	68



13	オプション .....	70
13.1	[全般]カテゴリ .....	70
13.2	[セキュリティ]カテゴリ .....	72
13.3	[リモートコントロール]カテゴリ .....	74
13.4	[会議]カテゴリ .....	76
13.5	[コンピュータ&パートナー]カテゴリ .....	76
13.6	[音声会議]カテゴリ .....	78
13.7	[動画]カテゴリ .....	79
13.8	[カスタム招待]カテゴリ .....	80
13.9	[詳細]カテゴリ .....	81



# 1 TeamViewerについて

## 1.1 ソフトウェアについて

TeamViewerは、直感的な操作で高速かつセキュアにリモートコントロールや会議を実施できるアプリケーションです。TeamViewerは、All-In-Oneソリューションとして以下を実行できます。

- 同僚、友人、顧客に簡単にリモートサポートを提供する。
- Windowsサーバーおよびワークステーションを管理する。TeamViewerをWindowsシステムサービスとして実行できます。これにより、Windowsにログインする前にコンピュータにアクセスできるようになります。
- Mac OS XやLinuxなどの他のプラットフォームに接続する。
- AndroidまたはiOSモバイルデバイスからWindows、Mac、またはLinuxコンピュータに接続する。
- 会議、プレゼンテーション、またはチーム作業のためにデスクトップを共有する。
- 外出時に自宅のコンピュータに接続してドキュメントの操作、電子メールのチェック、画像のダウンロードや編集を行う。
- 外出時に職場のコンピュータに接続する（出張での移動時などに重要な情報が必要な場合など）。

TeamViewerは、特別な設定なしにファイアウォールやプロキシを越えて通信できます。

## 1.2 本書について

本書では、TeamViewerを使用してコンピュータをリモート操作する方法を説明します。

別途指定がない限り、ここに記載される機能は、常にMicrosoft Windows向けのTeamViewerのフルバージョンについての説明です。

本書の説明は、TeamViewerのフルバージョンがコンピュータにインストール済みであることを前提としています。TeamViewerのインストールに関するサポートが必要な場合は、[12項\(65ページ\)](#)を最初にお読みください。

TeamViewerの会議機能については、『*TeamViewer 8 Meeting Manual*』を弊社のWebサイトからダウンロードして参照してください。

Mac OSおよびLinux版では、Windows版とほぼ同じ機能を使用できますが、一部の機能はまだ提供されていません。試用版を活用していただき、各種機能をご確認ください。何かご質問などがございましたら弊社サポートチームにお問い合わせください。



Mac OS、iPhone、iPadはApple Inc. の商標です。Linux®は米国およびその他の国におけるLinus Torvaldsの登録商標です。AndroidはGoogle Inc. の商標です。Windows、Microsoft、Outlookは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。本書では、便宜上、Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows® Vista、Microsoft® Windows® 7の各オペレーティングシステムを単に「Windows」と呼びます。サポート対象のすべてのWindowsオペレーティングシステムについては、弊社のWebサイト (<http://www.teamviewer.com/ja/kb/38-Which-operating-systems-are-supported.aspx>) をご覧ください。



## 2 基本

### 2.1 TeamViewerの仕組み

TeamViewerの接続を携帯電話に置き換えて考えると、TeamViewer IDはすべてのTeamViewerクライアントが個別にアクセスできる電話番号になります。TeamViewerを実行するTeamViewerコンピュータおよびモバイルデバイスは、一意のIDによって識別されます。このIDはTeamViewerの初回起動時にハードウェア特性に基づいて自動的に生成され、それ以降は変更されません。

TeamViewer接続はすべて暗号化されるため、第三者によるアクセスから保護されます。TeamViewerでの接続、セキュリティ、データ保護の技術的な詳細については、弊社Webサイトの「セキュリティ保護方針」(<http://www.teamviewer.com/products/security.aspx>)を参照してください。

### 2.2 TeamViewerのメインウィンドウ

TeamViewerのメインウィンドウは、[リモートコントロール]タブと[会議]タブで構成されま



TeamViewerのメインウィンドウ。







## 2.2.1 [リモートコントロール]タブ

[リモートコントロール]タブは、以下の2つのエリアで構成されます。

### 遠隔操作を受ける許可

このエリアには、TeamViewer IDと仮のパスワードが表示されます。この情報をパートナーと共有すると、そのパートナーはこちら側のコンピュータに接続できます。

[パスワード]フィールド内の  アイコンをクリックすると、コンテキストメニューが表示され、そこからランダムパスワードの変更またはクリップボードへのコピー (Windowsのコピー&ペースト機能) を行うことができます。また、ここで個人的なパスワードを定義することもできます。

**注:** [無人アクセスのセットアップ]  アイコンをクリックしてTeamViewerをWindowsと一緒に (システムサービスとして) 自動的に起動するように設定し、個人的なパスワードを選択します。この設定を行うと、いつでもTeamViewerを介してコンピュータにアクセスできるようになります。このリンクが表示されるのは、TeamViewerをまだシステムサービスとして設定していない場合のみです ([12.2項 \(66ページ\) を参照](#))。

### リモートコンピュータの操作

リモートコンピュータを操作するには、[パートナーID]コンボボックスにパートナーのIDを入力します。また、以下の接続モードを使用できます。

- [リモートコントロール]  
パートナーのコンピュータを操作したり、一緒に1台のコンピュータで作業したりできます。
- [ファイル転送]  
パートナーのコンピュータと相互にファイルを転送できます。
- [VPN]  
パートナーとの仮想プライベートネットワークを構築できます。

## 2.2.2 [会議]タブ

TeamViewerを使用して会議およびプレゼンテーションを行う方法については、『*TeamViewer 8 Meeting Manual*』を参照してください。

## 2.2.3 TeamViewerのメインウィンドウのメニューバー

メニューバーはTeamViewerのメインウィンドウの上端に表示され、[接続]、[その他]、[ヘルプ]の各メニュー項目で構成されます。

### 接続

[接続]メニューでは、以下のオプションを使用できます。

- パートナーをTeamViewerセッションに招待する場合は、[パートナーを招待]をクリックします。
- TeamViewerをWindowsと一緒に (システムサービスとして) 自動的に起動するように設定する場合は、[無人アクセスのセットアップ]をクリックします。



- TeamViewer Management Consoleを開くには、[Management Consoleを開く…]をクリックします。
- TeamViewerを終了する場合は、[TeamViewerの終了]をクリックします。

## その他

[その他]メニューでは、以下のオプションを使用できます。

- 各種設定 ([13項\(70ページ\)を参照](#))にアクセスする場合は、[オプション]をクリックします。
- 記録したTeamViewerセッション ([9.7項\(45ページ\)を参照](#))を再生またはビデオに変換する場合は、[記録セッションの再生または変換…]をクリックします。
- TeamViewerを他のユーザーに推奨する場合は、[パートナーに紹介]をクリックします。
- TeamViewerで作成されたログファイルにアクセスする場合(特に、TeamViewerのサポートチームから分析用に提出を求められた場合は)、[ログファイルを開く…]をクリックします。
- このコンピュータでライセンスキーを有効にする場合は、[ライセンスを有効にする] ([12.4項\(68ページ\)を参照](#))をクリックします。

## ヘルプ

[ヘルプ]メニューでは、以下のオプションを使用できます。

- TeamViewerに関するサポートが必要な場合、[TeamViewerのWebヘルプ]をクリックすると、サポートWebサイトにアクセスできます。
- TeamViewerのWebサイトを表示する場合は、[TeamViewerのWebサイト]をクリックします。
- TeamViewerに関するフィードバックを送信する場合は、[フィードバック]をクリックします。
- 使用しているTeamViewerが最新バージョンかどうかを確認する場合は、[新しいバージョンの確認]をクリックします。
- TeamViewerのバージョンやライセンスの情報を確認する場合は、[バージョン情報]をクリックします。

### 2.2.4 TeamViewerのメインウィンドウのステータスバー

ステータスバーはTeamViewerのメインウィンドウの下端に表示されます。ステータスバーは、接続ステータスを示すステータスライトと[コンピュータ&パートナー] ([8項\(27ページ\)を参照](#)) ボタンで構成されます。

ステータスライトは接続状況に応じて、以下の3つの色に変化します。

- **緑**: 接続準備が完了しています。TeamViewerからの安全な接続を確立するか、着信接続要求を受け入れることができます。
- **黄**: 認証中です。TeamViewerセッションを確立するための認証プロセスが開始されました。パートナーまたはこちらからパスワードを入力する必要があります。
- **赤**: 接続が中断されたか、または接続が確立されませんでした。



# 3 TeamViewerの接続の確立

本項では、リモートコントロールセッションを確立するための簡単な手順を紹介します。VPNセッションまたはファイル転送のために接続を確立する場合も、同じ手順を実行します。その他の接続方法およびその他の機能については、[7項\(25ページ\)](#)/[8項\(27ページ\)](#)/[10項\(48ページ\)](#)を参照してください。

**リモートコントロールセッションのためにパートナーと接続するには、以下の手順を実行します。**

1. TeamViewerを起動します。
2. [リモートコントロール]タブをクリックします。
3. パートナーにTeamViewerのフルバージョンまたはTeamViewer QuickSupport([11.2項\(57ページ\)](#)を参照)を起動するように依頼します。
4. パートナーにTeamViewer IDとパスワードを通知してもらいます。
5. パートナーのIDを[パートナーID]コンボボックスに入力します。
6. [リモートコントロール]ラジオボタンをクリックします。
7. [パートナーに接続]ボタンをクリックします。  
→ [TeamViewerの認証]ダイアログボックスが開きます。
8. リモートコンピュータのパスワードを入力します。
9. [ログオン]をクリックします。
10. これでパートナーのコンピュータとの接続は完了です。



# 4 リモートコントロール接続モード

リモートコントロール接続モードでは、リモートコンピュータを操作できます。

本項では、リモートコントロール接続モードで使用できるツールについて説明します。パートナーのコンピュータを直接使用する場合と同じように操作できます。このモードでは、外出時/出張時に自分のコンピュータを操作することもできます。

リモートコントロールセッション(3項(11ページ)を参照)を開始すると、リモートコントロールウィンドウが表示されます。



TeamViewerのリモートコントロールウィンドウ

## 4.1 リモートコントロールウィンドウのオプション

パートナーの名前またはIDがウィンドウのタイトルバーに表示されます。その下に、以下のようなメニューボタンで構成されるツールバーが表示されます。



## × 終了

現在の接続を終了します。

## ⚡ 操作

操作	説明
パートナーと役割を交代	リモートコントロールセッションの方向が入れ替わり、パートナーがこちらのコンピュータを操作できるようになります。
Ctrl+Alt+Del	CTRL+ALT+DELキーコマンドをリモートコンピュータに送信します。
コンピュータのロック	<p>[ロック]: リモートコンピュータをロックします。これにより、ユーザーアカウントの切り替えまたは同じセッションへの再サインインが可能になります。</p> <p>[セッション終了時にロック]: セッション終了後またはセッション中止後にリモートコンピュータを自動的にロックします。</p>
	<p>注: リモートコンピュータがロックされている場合、または接続が確立されている間にサインインしたユーザーがいない場合、[セッション終了時にロック]オプションが自動的に有効になります。</p>
リモート再起動	<p>[ログオフ]: リモートコンピュータで、現在のWindowsユーザーアカウントをログオフします。この場合、任意のWindowsユーザーアカウントでログインし直すことができます。</p> <p>[再起動]: リモートコンピュータを再起動します。</p>
	<p>注: リモートコンピュータの再起動直後に、ダイアログボックスが自動的に表示されます。ここでTeamViewerの接続を再び確立することができます。</p> <p>[セーフモードで再起動]: ネットワークドライバを使用してリモートコンピュータをセーフモードで再起動します。</p>
キーコンビネーションの送信	キーの組み合わせ (ALT+TABなど) をリモートコンピュータに直接送信します。この場合、ローカルではコマンドは実行されません (キーボードショートカット: SCROLL LOCKキー)。
リモート入力を無効にする	リモートコンピュータ上のマウスとキーボードによる入力を無効にします。
	<p>注: これを解除するには、リモートコンピュータ上でCTRL+ALT+DELを押します。</p>



操作	説明
ブラックスクリーンを表示	<p>リモートコンピュータのモニターをブラックスクリーンにします。</p> <p><b>注:</b> これを解除するには、リモートコンピュータ上でCTRL+ALT+DELを押します。</p> <p><b>注:</b> ブラックスクリーンを確実に表示するために、ドライバをインストールすることができます。リモートコンピュータのディスプレイが無効になっている場合は、<b>[ブラックスクリーンを表示]</b>ダイアログボックスが表示されます。ドライバをインストールする場合は、<b>[続行]</b>ボタンをクリックします。</p>



## ショートカット

リモートコンピュータがWindows 8オペレーティングシステムで稼働している場合、Windows 8用のコマンドを実行できます。

- **[スタート]:** Windows 8のスタート画面を開きます。
- **[アプリコマンド]:** Windows 8のアプリバーを開きます。
- **[チャーム]:** Windows 8のチャームバーを開きます。
- **[アプリの切り替え]:** Windows 8アプリ概要を開く
- **[ドッキング]:** Windowsストアアプリを画面の右端にドッキングします。



## 表示

操作	説明
画質	<p><b>[自動選択]:</b> 使用可能な帯域幅に応じて画質と転送速度を最適化します。</p> <p><b>[速度の最適化]:</b> 画質を低下させることで接続速度を最適化します。</p> <p><b>[画質の最適化]:</b> 接続速度を低下させることで画質を最適化します。</p> <p><b>[カスタム設定]:</b> カスタム設定に基づいて画質と転送速度を最適化します。</p> <p><b>[カスタム設定の編集...]:</b> <b>[Custom Settings(カスタム設定)]</b>ダイアログボックス (<a href="#">13.3項(74ページ)を参照</a>) を開きます。</p>



操作	説明
最適化	<p>[オリジナル]: リモートコンピュータで設定された解像度で画面を転送します。リモートコンピュータの画面の方が解像度が高い場合は、スクロールバーを使用して画面を移動できます。</p> <p>[最適]: リモートコンピュータの画面の方が解像度が高い場合は、画面を縮小して転送します。</p> <p>[全画面]: ローカルコンピュータに全画面モードでリモートコンピュータの画面を表示します。リモートコンピュータの画面の方が解像度が低いときに[最適]を選択した場合は、それに応じて画面が拡大されます。</p>
有効なモニター	<p>[すべてのモニターを表示]: パートナーが複数のモニターを使用している場合、すべてのモニター画面を単一ウィンドウに同時に表示します。</p> <p>[「X」のモニター]: パートナーの使用可能なモニターを表示します。</p> <p>[モニターを個別のウィンドウとして表示]オプションを有効化すると、対応するモニターが個別のセッションウィンドウで表示されます。</p>
画面解像度	リモートコンピュータの画面解像度を変更します。解像度を低くすると、データの転送量が少なくなるため、パフォーマンスが向上します。
単一ウィンドウを選択	パートナーの画面内の 1 つの特定のウィンドウのみを表示します。これを行うには、表示するウィンドウ内を十字カーソルでクリックします。
デスクトップ全体を表示	リモートコンピュータの画面全体を表示します。
更新	自動更新機能が動作しない場合に、画面を更新します。
壁紙の削除	リモートコンピュータの壁紙を非表示にします。これにより接続速度が向上します。
リモートカーソルを表示	パートナーのマウスポインタを表示します。これを有効化すると、リモートコンピュータ上のマウスポインタの動きを確認できます。



## 音声/動画

音声/動画機能の詳細については、[9項 \(42ページ\)](#)を参照してください。



操作	説明
コンピュータでの音声	リモートコンピュータからの音声をローカルコンピュータに送信します(9.7項(45ページ)を参照)。
VoIP	音声送信用のウィジェットを開きます。
マイビデオ	Webカム送信用のウィジェットを開きます。
チャット	パートナーとテキストによる通信を行うためのウィジェットを開きます。
電話会議	電話会議を開始または電話会議に参加するためのウィジェットを開きます。



## ファイル転送

ドロップダウンメニューから、以下のファイル転送オプションを選択できます。

操作	説明
ファイル転送	[ファイル転送]ウィンドウが開き、ローカルコンピュータとリモートコンピュータとの間でファイルを転送できます(5項(20ページ)を参照)。
ファイルボックス	ウィジェットが開き、リモートコントロールセッションでパートナーとファイルを共有できます(9.6項(45ページ)を参照)。



## その他

操作	説明
追加の参加者を招待する...	[追加の参加者の招待]ダイアログボックスを開きます(10.6項(54ページ)を参照)。
リモート印刷	ローカルコンピュータでのリモートコンピュータからの印刷を有効にします(10.7項(55ページ)を参照)。





操作	説明
スクリーンショットの作成...	リモートコントロールウィンドウで現在表示されている内容をスクリーンショットとして保存します。 これを行うには、[スクリーンショットの作成...]をクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、スクリーンショットを保存するか、クリップボードにコピーするかを選択します。
レコード	現在のリモートコントロールセッションを動画として記録します ( <a href="#">9. 7項 (45ページ) を参照</a> )。 以下のオプションを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [起動]: 記録を開始します。</li> <li>- [一時停止]: 記録を一時停止します。</li> <li>- [停止]: 記録を終了します。</li> </ul>
VPN	接続しているコンピュータ間で仮想プライベートネットワークを構築します。 このオプションを使用できるのは、お互いのコンピュータにTeamViewer VPNドライバがインストールされている場合のみです。TeamViewer VPNの詳細については、 <a href="#">6項 (23ページ) を参照</a> してください。 以下のオプションを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [起動]: VPN接続を開始します。</li> <li>- [停止]: VPN接続を終了します。</li> <li>- [ステータス...]: ステータスウィンドウを開き、VPNのIPアドレスを表示します。</li> </ul>
リモート更新	リモートコンピュータのTeamViewerの最新バージョンの有無を確認し、必要に応じて更新をインストールします ( <a href="#">10. 2項 (52ページ) を参照</a> )。
リモートシステム情報...	リモートコンピュータのシステム情報を示すダイアログボックスを開きます ( <a href="#">10. 3項 (53ページ) を参照</a> )。
接続情報...	[接続情報]ダイアログボックスを開きます ( <a href="#">10. 4項 (53ページ) を参照</a> )。



## 次のモニター

リモートコンピュータで複数のモニターが使用可能な場合、ドロップダウンメニューから目的のモニターを選択して複数のモニターを個別のウィンドウに表示することができます。また、すべてのモニターを単一ウィンドウに表示することもできます。[表示|有効なモニター]を使用しても、同じ機能にアクセスできます。



## Ctrl+Alt+Del

CTRL+ALT+DELキーコマンドをリモートコンピュータに送信します。このボタンは、リモートコンピュータがこのキーの組み合わせを要求する場合（コンピュータをロックしている場合やWindowsの起動後にログイン画面が表示されている場合など）にのみ、自動的に表示されます。

**注：** ツールバーの ボタンを使用して、リモートコントロールウィンドウを全画面モードで表示できます。 ボタンを使用してツールバーを最小化できます。

## 4.2 TeamViewerパネルのリモートコンピュータ用オプション



リモートコントロールのためのTeam Viewerパネル

パートナー側（リモートコンピュータ）で、すべての接続において画面の右下に小さなコントロールウィンドウが表示されます。

TeamViewerパネル自体には、以下の特長があります。








- 画面上の任意の場所に移動できます。したがって、画面の重要な部分が隠れてしまうことはありません。
- 個々のウィジェットをパネルから切り離すことができます。ウィジェットをパネルからドラッグして、サイズと位置を個別に調整します。あるいは、 アイコンをクリックして、個々のウィジェットをTeamViewerパネルから切り離します。
- パネルの左側にある アイコンを使用すると、パネルを画面の端に最小化できます。

**注：** マルチメディア機能 ([9項 \(42ページ\) を参照](#)) を開始したときにも、画面に同じウィンドウが表示されます。

### メニューバーのオプション

メニューバーはコントロールウィンドウの上端にあります。ローカル/リモートの両方のコンピュータから各アイコンをクリックして、以下の機能を利用できます。



機能	説明
 すべての接続 の終了	有効なリモートコントロールセッションをすべて終了します。
 動画	[マイビデオ]ウィジェットを開きます ( <a href="#">9.3項(43ページ)を参照</a> )。
 電話会議	[電話会議]ウィジェットを開きます ( <a href="#">9.5項(44ページ)を参照</a> )。
 VoIP	[VoIP]ウィジェットを開きます ( <a href="#">9.2項(42ページ)を参照</a> )。
 チャット	[チャット]ウィジェットを開きます ( <a href="#">9.4項(44ページ)を参照</a> )。
 ファイルボ ックス	[ファイルボックス]ウィジェットを開きます ( <a href="#">9.6項(45ページ)を参照</a> )。
 機能	このアイコンのコンテキストメニューから[セッションリスト]ウィジェットにアクセスできます ( <a href="#">9.1項(42ページ)を参照</a> )。

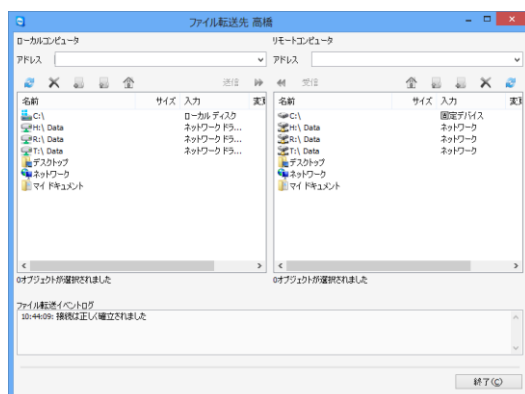


# 5 ファイル転送接続モード

以降の項では、ファイルおよびフォルダを送信/受信する方法について説明します。

## 5.1 ファイル転送接続モードのオプション

### 5.1.1 ファイル転送ウィンドウの説明



ファイル転送ウィンドウでは、パートナーのコンピュータと相互にファイルを送受信できます。ファイル転送ウィンドウは、以下の2つの方法で開くことができます。

- [リモートコントロール]タブで、[ファイル転送]ラジオボタンを選択してから接続を開始します。
- リモートコントロールセッション中に、リモートコントロールウィンドウのツールバーにある[ファイル転送]をクリックします。

ファイル転送ウィンドウでは、リモートコンピュータと相互にファイルを送受信できます。

### 5.1.2 ファイル転送ウィンドウのオプション

ファイル転送ウィンドウには、こちらのファイルシステムが左側に表示され、パートナーのファイルシステムが右側に表示されます。各ボタンを使用して、以下の操作を実行できます。

アイ  
コン



[ファイルリストを更新 (F5)]：  
現在のフォルダを更新します。



## アイコン 説明



### [選択したオブジェクトの削除 (DEL)]:

選択したファイルおよびフォルダを削除します。この操作は元に戻すことができません。

**注意:** ファイルを削除すると、そのファイルは完全に削除されるため、ごみ箱から復元することはできません。



### [新しいフォルダの作成]:

選択したディレクトリに新しいフォルダを作成します。



### [親フォルダに移動 (BACKSPACE)]:

現在のフォルダの親フォルダに移動します。



### [ドライブに移動 (CTRL+BACKSPACE)]:

Windowsに割り当てられたドライブの一覧を表示します。また、ここから[マイドキュメント]や[デスクトップ]などのWindows固有のフォルダにもアクセスできます。



### [送信 (F11)]:

選択したファイルおよびフォルダをリモートコンピュータに送信します。



### [受信 (F11)]:

選択したファイルおよびフォルダをローカルコンピュータにロードします。

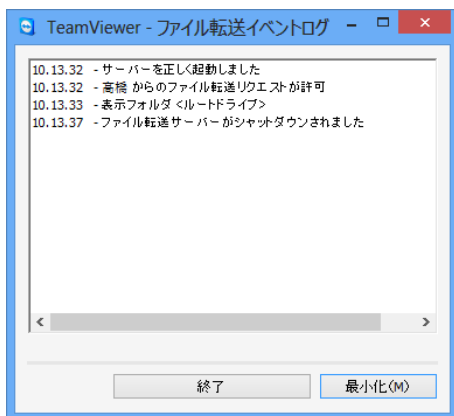
### 名前の変更:

ファイル/フォルダの名前を変更するには、選択したファイル/フォルダをクリックします。・ これで名前を編集できます。

**ヒント:** ファイル転送ウィンドウでは、ドラッグ&ドロップ操作によりコンピュータ間でファイルとフォルダをやり取りすることもできます。これを行うには、一方のコンピュータのファイルシステムエリアから他方のコンピュータのファイルシステムエリアにファイルまたはフォルダをドラッグします。

### 5.1.3 イベントログウィンドウの説明

パートナー側では、すべての操作が[ファイル転送イベントログ]ダイアログボックスに記録されます。



[ファイル転送イベントログ]ダイアログボックス

このダイアログボックスには、ファイル転送のステータス、転送中のファイル、ファイルの保存先、現在のディレクトリが表示されます。

[ファイル転送を停止してください]ボタンをクリックすると、現在実行中のすべてのファイル転送が停止します。

[最小化]ボタンをクリックすると、このダイアログボックスはタスクバーに最小化されます。

## 5.2 ドラッグ&ドロップによるファイルの転送

ローカルコンピュータとリモートコンピュータ間でファイルを転送する別の方法として、ドラッグ&ドロップがあります。ファイルまたはフォルダ全体をセッションウィンドウからローカルコンピュータ (またはその逆方向) にドラッグすることができます。また、Outlookの電子メールなど、任意の場所に直接ドラッグすることもできます。

この形式のファイル転送は個別のモードとして実行する操作ではありません。これはリモートコントロール接続モードの機能の1つです。

**ドラッグ&ドロップを使用してファイルをリモートコンピュータに転送するには、以下の手順を実行します。**

1. 3項(11ページ)の説明に従い、リモートコンピュータに接続します。
2. 転送するファイルを選択します。
3. ファイルをローカルコンピュータの画面からリモートコントロールウィンドウにドラッグします。
  - ダイアログボックスが開き、ファイルがリモートコンピュータに転送されます。
  - ファイル転送が完了すると、ダイアログボックスは閉じます。
4. これでファイルの転送は完了です。

**ファイルをリモートコンピュータからローカルコンピュータに転送する場合も、上記と同じ手順を実行します。**



# 6 VPN接続モード

VPN接続モードでは、2台のTeamViewerコンピュータ間で仮想プライベートネットワーク (VPN) を構築できます。VPNを介して接続された2台のコンピュータは、共通のネットワーク内のコンピュータとして使用できます。これにより、こちらからパートナーのコンピュータのリソースにアクセスしたり、パートナーからこちらのコンピュータのリソースにアクセスしたりできるようになります。

## 6.1 TeamViewer VPNの使用例

- リモートコンピュータに接続されているプリンタにドキュメントを印刷します。
- リモートデータベースサーバーへのVPN接続を確立することで、リモートデータベースにアクセスするローカルコンピュータ上でアプリケーションを実行できます (ホームオフィスの場合など)。
- リモートコンピュータに接続されたデバイス (ハードドライブやUSBスティックなど) へのアクセスを外部の参加者に付与できます。

## 6.2 TeamViewer VPNの使用条件

[TeamViewer VPNの使用]オプションを使用して、TeamViewerをローカル/リモートの両方のコンピュータにインストールする必要があります ([12.1項 \(65ページ\) を参照](#))。つまり、TeamViewer VPNドライバを両方のコンピュータにインストールする必要があります。VPNドライバは後からインストールすることもできます ([13.9項 \(81ページ\) を参照](#))。TeamViewer自体のアンインストールまたは再インストールは必要ありません。

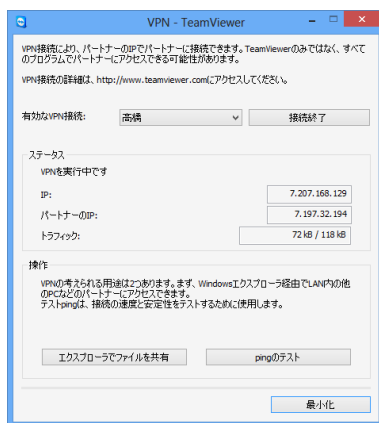
**注:** TeamViewerを使用してパートナーのコンピュータの遠隔操作やファイル転送を行う場合には、VPN接続は必要ありません。

**注:** TeamViewer VPNを使用してローカルコンピュータをリモートコンピュータに接続すると、その2台のコンピュータのみが仮想プライベートネットワーク内でリンクされます。他のコンピュータは、いずれかのコンピュータにLAN接続されていても、このネットワークにはアクセスできません。

**注:** TeamViewer VPNドライバをまだインストールしていない場合、TeamViewerのメインウィンドウにVPNのオプションボタンは表示されません。



## 6.3 VPNダイアログボックスのオプション



[VPN-TeamViewer]ダイアログボックス

3項(11ページ)の説明に従い、VPNを介してリモートコンピュータに接続すると、[VPN-TeamViewer]ダイアログボックスが表示されます。

この[VPN-TeamViewer]ダイアログボックスには、以下のオプションが用意されています。

- 複数の同時VPN接続の場合、[有効なVPN接続]ドロップダウンリストから必要な接続を選択できます。ダイアログボックスには、この接続の詳細と実行可能な操作が表示されます。
- [接続終了]ボタンをクリックすると、選択した接続が終了します。
- [ステータス]エリアには、両方のコンピュータに割り当てられたVPNのIPアドレスが表示されます。一度割り当てが完了すると、VPNのIPアドレスは変更されません。ここにはデータの転送量も表示されます。
- [エクスプローラでファイルを共有]ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラが開き、リモートファイルシステムにアクセスできるようになります。リモートコンピュータ上のフォルダをローカルネットワークを介して共有している場合、そのフォルダにアクセスできるようになり、必要に応じてファイルの削除、コピー、移動などの操作を実行できます。リモートコンピュータ上で自分の認証が必要になる場合があります。
- [pingのテスト]ボタンをクリックすると、リモートコンピュータにpingが送信されます。これにより、接続が正しく確立されているかどうかを確認できます。





# 7 その他の接続オプション

## 7.1 IPアドレスを使用したLAN接続の確立

### 7.1.1 LAN接続の有効化によるネットワーク接続

IPアドレス(または(コンピュータ名)を直接使用してローカルネットワーク接続を確立することもできます。これを行うには、着信LAN接続が承認されるようにTeamViewerを設定する必要があります。

**着信LAN接続を承認するには、以下の手順を実行します。**

1. メインメニューの[その他|オプション]をクリックします。
2. [全般]カテゴリを選択します。
3. [ローカルネットワークでの接続 (IPアドレス使用)]エリアの[受信LAN接続]で、[同意]オプションを選択します。

**注:** [同意のみ]オプションを選択することもできます。この場合、ローカルコンピュータへの接続がローカルネットワークのコンピュータに限定されます。メインウィンドウには、TeamViewer IDではなくIPアドレスが表示されます。

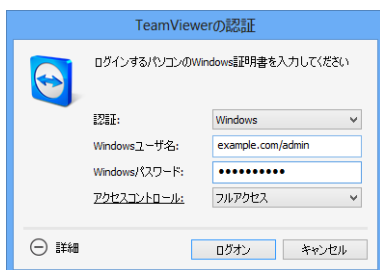
### 7.1.2 パートナーのIPアドレスを使用してパートナーに接続する方法

パートナーのIPアドレスを使用してパートナーに接続するには、[3項\(11ページ\)](#)の指示に従ってください。ただし、**パートナーID**ではなく、**リモートコンピュータのIPアドレス**を入力してください。ネットワークでDNS解決が使用される場合、コンピュータの名前を使用して同じ方法で接続できます。

**注:** LAN接続にはTeamViewerサーバーは関与しません。したがって、公開鍵/秘密鍵の鍵交換を行わない通常の対称暗号化方式が使用されます。



## 7.2 Windowsユーザーアカウントを使用したリモートコンピュータでの認証



詳細な認証ダイアログボックス。

IDとパスワードを使用するTeamViewer認証の代わりに、Windowsのユーザー名とパスワードを使用してリモートコンピュータにログインすることもできます。

Windows認証はすべての接続モードに対して使用できます。

**Windows認証を使用してリモートコントロールセッションに接続するには、以下の手順を実行します。**

1. TeamViewerを起動します。
2. パートナーにTeamViewerのフルバージョンまたはTeamViewer QuickSupport ([11.2項 \(57ページ\)](#)) を参照) を起動するように依頼します。
3. パートナーにTeamViewer IDを通知してもらいます。
4. [リモートコントロール] タブの [リモートコンピュータの操作] エリアで、[リモートコントロール] ラジオボタンを選択します。
5. パートナーのIDを [パートナーID] コンボボックスに入力します。
6. [パートナーに接続] ボタンをクリックします。  
→ [TeamViewerの認証] ダイアログボックスが開きます。
7. **+** [詳細] をクリックします。  
→ ダイアログボックスに詳細設定が表示されます。
8. [認証] ドロップダウンリストから [Windows] を選択します。
9. リモートコンピュータのWindowsユーザーアカウントのWindowsユーザー名およびWindowsパスワードを対応するフィールドに入力します。
10. [ログオン] をクリックします。
11. これでパートナーのコンピュータとの接続は完了です。

**注:** TeamViewer QuickSupportへの接続には、常にWindowsログイン情報を使用できません。

**注:** TeamViewer HostおよびTeamViewerフルバージョンでは、最初にリモートコンピュータのオプションの [セキュリティ] カテゴリで、この機能を有効化しておく必要があります ([13.2項 \(72ページ\)](#) を参照)。

**重要:** Windowsへのログインには、推測されにくい安全なパスワードを必ず使用してください。TeamViewerのパスワードの安全性を確認するには、[13.2項 \(72ページ\)](#) を参照してください。



# 8 コンピュータ&パートナー-パートナーの管理



[コンピュータ&パートナー]では、オンライン状態であるコンピュータ(パートナー)を一目で確認できます。

[コンピュータ&パートナー]では、コンピュータとパートナーの情報を中央で管理できます。ここでは、TeamViewerを使用して直接接続することが可能なコンピュータおよびパートナーの簡単な概要が表示されます。その他にも、[コンピュータ&パートナー]では、インスタントメッセージソフトのような便利な機能も使用できます。

[コンピュータ&パートナー]リストは、TeamViewerアカウントにリンクしています。つまり、パートナーの情報は特定のコンピュータに関連付けられているのではなく、中央の場所に格納されています。このため、TeamViewerを実行するどのコンピュータからでもパートナーにアクセスできます。

[コンピュータ&パートナー]には、以下の利点があります。

- コンピュータとパートナーがオンラインであるかどうかを確認できます。
- 接続情報を入力しなくても素早く接続を確立できます。
- 世界中のどこからでもコンピュータとパートナーにアクセスし、その情報を管理できます。
- グループチャット、オフラインメッセージ、ブロックリストの各機能を使用して、パートナーにメッセージを送信できます。
- 独自の在席ステータスを設定できます。
- コンピュータとパートナーをグループで管理し、独自のメモを追加できます。
- 個々のコンピュータ、パートナー、グループの接続設定を事前に定義できます。



注: [コンピュータ&パートナー]は、TeamViewerアカウントのコンポーネントです。これを使用するには、TeamViewerアカウントを登録する必要があります。

注: [コンピュータ&パートナー]は、TeamViewer Managerデータベースと同期化することができます。詳細については、*TeamViewer Manager*のマニュアル (<http://www.teamviewer.com/download/manager.aspx>)を参照してください。

## 8.1 TeamViewerアカウント


注: TeamViewerアカウントがなくてもTeamViewerを使用できます。

注: TeamViewerアカウントを使用しても追加料金は発生しません。TeamViewerアカウントは無料で作成して使用できます。

TeamViewerアカウントを使用すると、コンピュータとパートナーに関する情報を中央の場所に保存し、どこからでもコンピュータとパートナーを管理できます。

### 8.1.1 TeamViewerアカウントの作成

**TeamViewerアカウントを作成するには、以下の手順を実行します。**

1. TeamViewerのメインウィンドウのステータスバーにある[コンピュータ&パートナー]ボタン  をクリックします。  
→ [コンピュータ&パートナー]ウィンドウが開きます。
2. [コンピュータ&パートナー]で[登録]リンクをクリックします。  
→ ウィザードが起動し、そこでTeamViewerアカウントの作成処理を簡単な2つの手順で行うことができます。
3. [TeamViewerアカウントの作成-ステップ2の1]ダイアログボックスで、**ユーザー名**、**電子メールアドレス**、および**パスワード**を入力します。
4. 当社のニュースレターを購読する場合は、[**無料のニュースレターを購読**]チェックボックスをオンにします。
5. [次へ]ボタンをクリックします。  
→ 入力したメールアドレスに、アカウントの有効化用のリンクを収めた電子メールが届きます。
6. [TeamViewerアカウントの作成-ステップ2の2]で、このコンピュータへの永久アクセスを設定できます。これを行うには、**パソコン名**(識別用)と**パスワード**(このコンピュータへの接続に使用する任意のパスワード)を入力します。
7. このコンピュータでTeamViewerをシステムサービスとして設定する場合は、[**このコンピュータをリモートで操作する**]チェックボックスをオンにします。
8. [次へ]ボタンをクリックします。
9. [完了]ボタンをクリックします。
10. TeamViewerアカウントの作成を完了するには、TeamViewerチームから届いた電子メール内の**有効化用のリンク**をクリックします。



11. これでTeamViewerアカウントの設定は完了です。

メールアドレスやパスワードなどを後から変更する場合は、アカウント管理のオプションを使用します。このオプションでは、Premium/Corporateライセンスをアカウントにリンクすることもできます ([13.5項\(76ページ\)](#)を参照)。



Webサイトを利用したTeamViewerアカウントの作成

**ヒント:** TeamViewerアカウントはWebサイトからでも作成できます。WebブラウザにURL: <http://login.teamviewer.com>を入力し、[サインアップ]リンクをクリックして新しいアカウントを作成します。

### 8.1.2 TeamViewerアカウントの管理

TeamViewerアカウントの設定は、WebブラウザまたはTeamViewerのオプションから直接管理することができます ([13.5項\(76ページ\)](#)を参照)。

**アカウントの設定をWebブラウザで管理するには、以下の手順を実行します。**


1. WebブラウザにURL: <https://login.teamviewer.com>を入力します。
2. TeamViewerアカウントのログイン情報を[ユーザー名]および[パスワード]フィールドに入力します。
3. [サインイン]をクリックします。  
→ TeamViewer Management Consoleおよびコンピュータ&パートナーのユーザーインタフェースがロードされます。
4. 右上隅にある[プロファイルの編集]リンクをクリックします。  
→ ウィンドウが開き、アカウント設定が表示されます。
5. ここから自分のアカウント情報を変更することができます。

### 8.1.3 [コンピュータ&パートナー]でのTeamViewerアカウントのログインとログアウト

どのTeamViewerのフルバージョンでも、TeamViewerアカウントを使用して[コンピュータ&パートナー]リストにログインすることができます。



TeamViewerアカウントを使用して[コンピュータ&パートナー]にログインするには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerのメインウィンドウのステータスバーにある[コンピュータ&パートナー]ボタン  をクリックします。  
→ [コンピュータ&パートナー]ウィンドウが開きます。
2. アカウント情報を[ユーザー名]および[パスワード]フィールドに入力します。
3. [サインイン]をクリックします。
4. これでログインは完了です。コンピュータとパートナーが表示されます。



どのTeamViewerからでもアカウントにログインできます。

[コンピュータ&パートナー]でTeamViewerアカウントをログアウトするには、以下の手順を実行します。

1. [コンピュータ&パートナー]の上部にある自分の表示名をクリックします。  
→ ドロップダウンメニューが表示されます。
2. [サインアウト]を選択します。
3. これでTeamViewerアカウントのログアウトは完了です。

次回から簡単にログインするには、ユーザー名とパスワードを保存するオプションまたは自動サインインのオプションを使用します。これを行うには、対応するチェックボックスをオンにします。









**注：**外部(公共)のコンピュータでは、[保存する]および[パスワードの保存]オプションを有効化しないでください。また、外部のコンピュータでTeamViewerを使用した後、忘れずにログアウトしてください。

**注：**PremiumまたはCorporateライセンスを購入してアカウントにリンクすると、ログインしている間はこれらのライセンスはライセンスのないTeamViewerインストールに対しても有効です。

## 8.2 [コンピュータ&パートナー]のオプション





[コンピュータ&パートナー]で実行可能な操作を以下に示します。



操作	説明
 グループの追加	新しいグループを作成します。グループを使用すると、コンピュータとパートナーを任意の条件(クライアント、同僚、友人など)で分類できます。詳細については、 <a href="#">8.2.2項(32ページ)</a> を参照してください。
 パートナーの追加	新しいパートナーを作成します。詳細については、 <a href="#">8.2.3項(32ページ)</a> を参照してください。
 コンピュータの追加	新しいコンピュータを作成します。詳細については、 <a href="#">8.2.3項(32ページ)</a> を参照してください。
 検索	検索フィールドの入力内容に基づいて、[コンピュータ&パートナー]リストの検索を開始します。
アカウントのメニューバー	<p>[コンピュータ&amp;パートナー]の上部にある自分の表示名をクリックします。ドロップダウンリストが表示され、そこから在席ステータスを選択できます。また、現在のステータスはTeamViewerのトレイアイコンにグラフィカルに表示されません。</p> <p>以下から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- オンライン </li> <li>- 取り込み中 </li> <li>- 離席中 </li> <li>- オフラインとして表示 </li> </ul> <p><b>注:</b> アクティブでない状態が5分以上続くと、在席ステータスは自動的に[離席中]に設定されます。</p> <p>また、[プロフィールの編集...]メニュー項目を使用してTeamViewerのアカウント管理オプションを呼び出すこともできます(<a href="#">13.5項(76ページ)</a>を参照)。さらに、[グループを開く]または[グループを閉じる]オプションを使用すると、すべてのグループの展開/折り畳みを行うことができ、[サインアウト]を使用すると、アカウントからログオフすることができます。</p>




## 8.2.1 コンピュータ/パートナーのオンラインステータス

ステータス	説明
 オンライン	TeamViewerを使用してパートナーまたはコンピュータにアクセス可能であることを示します。
 取り込み中	パートナーまたはコンピュータはオンライン状態ですが、取り込み中であることを示します。
 離席中	パートナーまたはコンピュータはオンライン状態ですが、離席中であることを示します。
 オフライン	現在、TeamViewerを使用してパートナーまたはコンピュータにアクセスできないことを示します。

## 8.2.2 グループの追加

新しいグループを作成するには、以下の手順を実行します。

-  [グループの追加] ボタンをクリックします。  
→ [グループの追加] ダイアログボックスが開きます。
- [グループ名] フィールドに新しいグループの名前を入力します。
- [OK] ボタンをクリックします。
- 新しいグループが作成され、[コンピュータ&パートナー] に表示されます。

注：デフォルトでは、現在オンラインではないコンピュータとパートナーは個別の「オフライン」グループに表示されます。このオプションを無効化する方法については、[13.9項\(81ページ\)](#)を参照してください。

## 8.2.3 共有グループ

[コンピュータ&パートナー] リスト内のグループをリスト内の個々のパートナーと共有することができます。これにより、他のパートナーがグループ全体を素早く簡単に使用することができます。

共有グループに対して、ユーザーごとに異なる権限を割り当てることもできます。これにより、特定のユーザーのみがグループを変更できるようにしたり(プロパティの編集、パートナーの追加など)、グループを[コンピュータ&パートナー] リストに表示するだけで編集でき







ないようにしたりすることができます。共有グループ内のコンピュータやパートナーへの接続は、権限とは無関係に常に可能です。

[共有グループ]リストからパートナーを削除すると、そのパートナーの[コンピュータ&パートナー]リストから共有グループが削除されます。

### グループを共有するには、以下の手順を実行します。

1. [コンピュータ&パートナー]リストからグループを選択します。
2. グループのコンテキストメニュー(右クリック)で、[共有]オプションを選択します。  
→ [共有グループ]ダイアログボックスが開きます。
3. [追加...]ボタンをクリックします。  
→ [ユーザーを追加]ダイアログボックスが開きます。
4. グループを共有したいパートナーをリストから選択します。
5. [OK]ボタンをクリックします。
6. 必要に応じて権限を編集します。
7. [OK]ボタンをクリックします。  
→ パートナーはメッセージを受信し、これに同意する必要があります。
8. これでグループが共有されました。パートナーの[コンピュータ&パートナー]リストに共有グループが表示され、パートナーはこのグループ内のコンピュータとパートナーに接続できます。

パートナーと共有しているグループのグループ名の横には、アイコンが表示されます。

パートナーから共有されているグループのグループ名の横には、アイコンが表示されます。

**注:** 1つまたは複数のグループを何人のパートナーとでも共有できます。

**ヒント:** 連絡先のコンテキストメニュー(右クリック)の[共有]をクリックして、連絡先でどのグループが共有されているか確認できます。そのオプションで、連絡先で共有されているグループをさらに表示できます。

## [共有グループ]ダイアログボックス

[共有グループ]ダイアログボックスには、個々のグループを共有しているパートナーが表示されます。さらに、以下のオプションを使用できます。

### 説明

---

**追加...** このボタンをクリックして、選択したグループをパートナーと共有します。

---

**削除** リストからパートナーを選択してこのボタンをクリックすると、このパートナーとのグループの共有が停止します。

---



## 説明

- 権限** パートナーに付与したい、共有グループに対する権限をドロップダウンリストから選択します。
- **【読み取り】**: パートナーの[コンピュータ&パートナー]リストに共有グループが表示され、このグループ内のコンピュータおよびパートナーに接続できます。パートナーはグループに変更を加えることはできません(パートナーの削除や名前の変更、パートナーの追加など)。
  - **【読み取り/書き込み】**: パートナーの[コンピュータ&パートナー]リストに共有グループが表示され、このグループ内のコンピュータおよびパートナーに接続できます。パートナーはグループに変更を加えることができます(パートナーの削除や名前の変更、パートナーの追加など)。

### 8.2.4 コンピュータ/パートナーの追加

TeamViewer ID(コンピュータ)またはTeamViewerアカウント(パートナー)のいずれかを使用して、コンピュータまたはパートナーを追加できます。

パートナーには複数のコンピュータが含まれることがあります。これはパートナーが複数のTeamViewerモジュールにログインする場合です。パートナーの作成には、パートナーがどのコンピュータを使用していても、そのパートナーに接続できるという利点もあります。



一方、TeamViewer IDは1台のコンピュータにのみ関連付けられます。そのコンピュータには接続できますが、そのコンピュータの利用者を確認することはできません。

以下の場合には、TeamViewer IDを使用して接続することをお勧めします。

- 相手がTeamViewerアカウントにログインしていない場合
- コンピュータが無人で稼働している場合(サーバーなど)
- 自分のコンピュータに接続する場合

TeamViewerアカウントおよびTeamViewer IDの両方を[コンピュータ&パートナー]に追加することができます。

**新しいコンピュータ/パートナーを作成するには、以下の手順を実行します。**

1. 新しいコンピュータ/パートナーを追加するグループを選択します。
2.  **【コンピュータの追加】**または  **【パートナーの追加】** ボタンをクリックします。  
→ **【コンピュータの追加】/【パートナーの追加】** ダイアログボックスが開きます。
3. 必要に応じて設定を行います。
4. **【OK】** ボタンをクリックします。
5. 新しいコンピュータ/パートナーが作成され、リストに表示されます。



## [コンピュータの追加]/[パートナーの追加]ダイアログボックス

[コンピュータの追加]/[パートナーの追加]ダイアログボックスでは、[コンピュータ&パートナー]にコンピュータ/パートナーまたは新しいグループを追加するときに、関連する設定を行うことができます。また、このダイアログボックスでは、特定のコンピュータ、パートナー、またはグループの接続情報を保存することもできます。

以下を設定できます。

設定	説明
TeamViewer IDまたはアカウント	このフィールドには、[コンピュータ&パートナー]に追加するパートナーのTeamViewer IDまたはアカウント名を入力します。
パスワード (TeamViewer IDの場合のみ)	TeamViewer IDを[コンピュータ&パートナー]に追加する場合、このフィールドにリモートコンピュータの個人的なパスワードを入力します。
エイリアス	このフィールドには、追加するコンピュータ/パートナーの表示名を入力します。
グループ	ドロップダウンリストからコンピュータ/パートナーの追加先のグループを選択します。
メモ	コンピュータ/パートナーに関する追加情報を入力します。
詳細	このボタンをクリックすると、コンピュータ/パートナーへの接続に関連するパラメータを作成できます。

## 詳細プロパティ

[グループの追加]/[コンピュータの追加]/[パートナーの追加]ダイアログボックスの詳細なプロパティのエリアでは、個々のコンピュータ/パートナーまたはグループ全体のパラメータを設定できます。[コンピュータ&パートナー]でいずれかのパートナーへの接続を確立すると、保存されているそのパートナーのパラメータがセッションに適用されます。

保存されているグループのパラメータは、そのグループ内のすべてのコンピュータ/パートナーに自動的に適用されます。

保存されているすべてのパラメータは、TeamViewerアカウントにリンクされます。これらのパラメータは、TeamViewerアカウントを使用してサインインしたすべてのTeamViewerで使用できます。

**特定のコンピュータ、パートナー、グループの接続パラメータを保存するには、以下の手順を実行します。**

1. TeamViewerアカウントを使用して[コンピュータ&パートナー]にログインします ([8.1.3項 \(29ページ\) を参照](#))。
2. 目的のコンピュータ、パートナー、またはグループを右クリックします。
3. コンテキストメニューから[プロパティ]を選択します。



→ [プロパティ]ダイアログボックスが開きます。

4. ダイアログボックスで[詳細]をクリックします。
5. 目的のパラメータを入力します。
6. [OK]ボタンをクリックします。
7. これで、選択したコンピュータ、パートナー、またはグループへの接続の確立に関連したパラメータの作成は完了です。

以下のパラメータを定義できます。

パラメータ	説明	指定可能な値
パートナーによる接続要求を許可 (TeamViewerアカウントの場合のみ)	オン(デフォルト設定)の場合、このパートナーは接続要求を送信してパスワードの入力なしに接続を確立できます。この要求を承認すると、パートナーはこちらに直接接続します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- オン</li> <li>- オフ</li> </ul>
リモート画面解像度	ドロップダウンリストから接続時のリモートコンピュータの画面解像度を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- (継承)</li> <li>- 変更不可</li> <li>- 最適</li> </ul>
拡大中	ドロップダウンリストから接続時のリモートコンピュータの画面の表示方法を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- (継承)</li> <li>- 最適(拡大)</li> <li>- 100%(原寸)</li> </ul>
フルスクリーン	ドロップダウンリストから、接続時にリモートコンピュータの画面を全画面で表示するかどうかを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- (継承)</li> <li>- ウィンドウ表示</li> <li>- 全画面</li> </ul>
画質	ドロップダウンリストから接続時の画質を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- (継承)</li> <li>- 自動</li> <li>- 速度の最適化</li> <li>- 画質の最適化</li> <li>- カスタム</li> </ul>
初期モニター	ドロップダウンリストから接続時に最初に送信するモニターを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- (継承)</li> <li>- プライマリモニター</li> <li>- すべてのモニター</li> <li>- モニターX</li> </ul>
認証モード	ドロップダウンリストから接続時のリモートコンピュータへのログオン方法を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- (継承)</li> <li>- TeamViewer認証</li> <li>- Windows認証</li> </ul>



パラメータ	説明	指定可能な値
リモート入力	ドロップダウンリストから、接続時のパートナーによるリモートコンピュータの操作およびリモートコンピュータの画面の表示を許可するかどうかを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- (継承)</li> <li>- リモート入力を有効にする</li> <li>- リモート入力を無効にする</li> <li>- リモート入力の無効化とブラックスクリーンの表示</li> </ul>

### 8.2.5 [コンピュータ&パートナー]からのクイック接続の確立-接続要求

この設定は、いずれかのコンピュータ/パートナーがこちらへのリモートコントロール接続の確立を求めている場合にのみ適用されます。

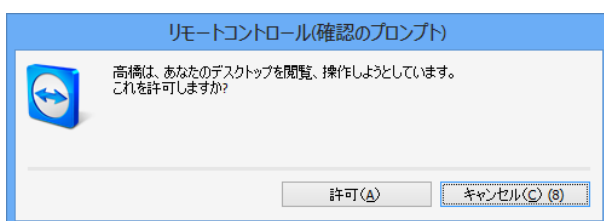
パートナーのプロパティで[パートナーによる接続要求を許可]チェックボックスをオンにすると、そのパートナーはパスワードを入力しなくても接続できるようになります。代わりに、TeamViewerからこちらに直接接続要求が送信されます。この要求に対して、承認または拒否することができます。

**(接続要求の送信により)クイックアクセス権限をパートナーに付与するには、以下の手順を実行します。**

1. [コンピュータ&パートナー]でパートナーを選択します。
2. (右クリックして)コンテキストメニューから[プロパティ]を選択します。  
→ [プロパティ]ダイアログボックスが開きます。
3. [詳細]ボタンをクリックします。
4. ダイアログボックスの詳細オプションで[パートナーによる接続要求を許可]チェックボックスをオンにします。
5. [OK]ボタンをクリックします。
6. これでパートナーはこちらに接続要求を送信できるようになります。

**接続要求を使用して接続を確立するには、以下の手順を実行します。**

1. [コンピュータ&パートナー]でパートナーを選択します。
2. (右クリックして)コンテキストメニューから[リモートコントロール(確認のプロンプト)]または[プレゼンテーション(確認のプロンプト)]を選択します。  
→ 接続要求のダイアログボックスがパートナーのコンピュータに表示されます。パートナーは[許可]をクリックして、アクセスを承認できます。
3. これで接続が確立されます。





注: コンピュータへの接続の確立にこの接続タイプを使用することもできます。この場合、この機能を有効化する必要はありません。

## 8.2.6 コンピュータまたはパートナーのコンテキストメニュー

コンピュータ/パートナーを右クリックすると、コンピュータまたはパートナーのコンテキストメニューにアクセスできます。

コンピュータまたはパートナーの種類によっては、使用できない機能があります。

コンテキストメニューでは、以下の機能が提供されます。

- **[メッセージを送信]**: [チャット]ダイアログボックスを開きます ([8.2.7項 \(38ページ\)](#)を参照)。
- **[リモートコントロール(確認のプロンプト)]**、**[プレゼンテーション(確認のプロンプト)]**: パスワードの入力なしにパートナーへの接続を開始します。これらのオプションは、こちらから接続要求を送信することをパートナーが許可した場合に使用できます ([8.2.3項 \(32ページ\)](#)を参照)。
- **[リモートコントロール(パスワードを使用)]**、**[ファイル転送]**、**[VPN]**: コンピュータ/パートナーに対して対応する接続を確立します。
- **[削除]**: コンピュータ/パートナーを完全に削除します。
- **[名前の変更]**: コンピュータ/パートナーに新しい表示名を割り当てることができます。
- **[プロパティ]**: **[プロパティ]**ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで利用できる機能は、**[コンピュータの追加]**/**[パートナーの追加]**ダイアログボックスと同じです ([8.2.3項 \(32ページ\)](#)を参照)。

## 8.2.7 [コンピュータ&パートナー]を使用したチャット

任意のコンピュータ/パートナーにメッセージを送信できます。コンピュータ/パートナーが現在オンラインでない場合は、コンピュータにはTeamViewerの起動後すぐに、パートナーにはTeamViewerアカウントへのログイン後すぐにメッセージが送信されます。コンピュータ/パートナーがオンラインである場合は、即座にコンピュータに新しいチャットウィンドウが開き、パートナーはメッセージを受信します。これにより、リアルタイムのメッセージの交換を開始できます。別のコンピュータ/パートナーをグループチャットに招待することもできます。

**コンピュータ/パートナーにメッセージを送信するには、以下の手順を実行します。**

1. 目的のコンピュータまたはパートナーを右クリックして、コンテキストメニューを開きます。
2. **[メッセージを送信]**オプションを選択します。  
→ **[チャット]**ダイアログボックスが開きます。
3. 下部の入力フィールドにメッセージを入力します。
4. **[送信]**ボタンをクリックするか、キーボードのRETURNキーを押して送信します。  
→ 入力したメッセージが上部に表示され、コンピュータ/パートナーに送信されます。

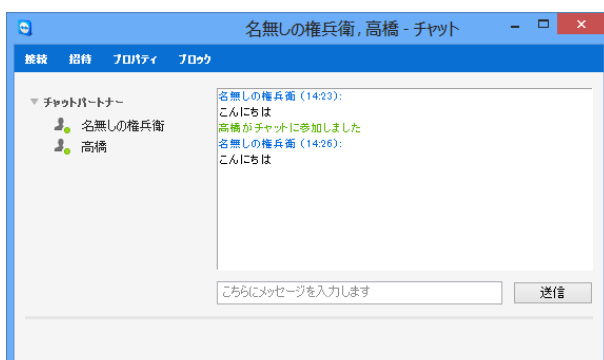


5. コンピュータ/パートナーがオンラインの場合は、パートナーはメッセージに直接返信することができます。パートナーにさらにメッセージを送ることもできます。

**注:** コンピュータにメッセージを送信するには、事前にこのコンピュータへの安全な接続を確立しておく必要があります。

**他のパートナーをグループチャットに招待するには、以下の手順を実行します。**

1. 上記の説明に従い、パートナーとのチャットを開始します。
2. チャットのメニューにある[招待] (チャットメッセージの送信後にしか使用できません) をクリックします。
3. 招待するパートナーを選択します。招待状のデフォルトのテキストを変更することもできます。
4. [OK] ボタンをクリックして、招待状を送信します。
5. これでチャットへのパートナーの招待は完了です。  
→ 選択したパートナーは招待状を受信します。招待状に同意したパートナーは、現在の[チャット]ダイアログボックスに参加者として表示され、会話に参加できます。



複数のチャットパートナーと接続している場合は、ウィンドウの左側にパートナーが表示されます。

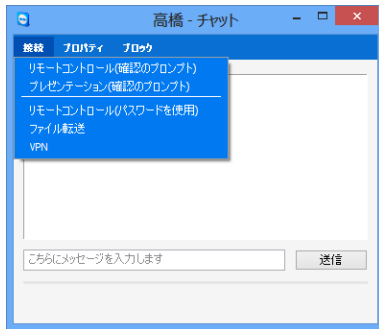
**注:** コンピュータ/パートナーがオフラインの場合、ダイアログボックスが閉じられても、そのコンピュータ/パートナーに送信されたすべてのメッセージは再ログイン後に受け取ることとなります (グループチャットには適用されません)。

**注:** 既存のチャットに招待できるのは、現在オンラインであるパートナーのみです。

**注:** 複数の参加者とのチャットは、パートナーとのみ可能です。追加の参加者を招待することができるのは、パートナーの1人との既存のチャットからだけです。



## チャットウィンドウで実行可能な操作



チャットウィンドウのメニュー項目をクリックすることで、以下のオプションを実行できます。

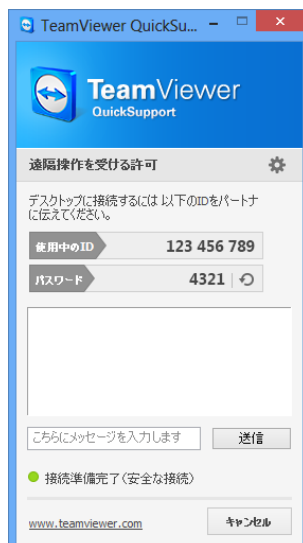
チャットウィンドウからTeamViewer接続を開始できます。

メニュー	説明
ブロック/ブロック解除	クリックすると、パートナーをブロックできます。もう一度クリックすると、ブロックが解除されます。
招待	クリックすると、パートナーをチャットに招待できます。
接続	クリックすると、以下の機能を実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- リモートコントロール(確認のプロンプト)</li> <li>- プレゼンテーション(確認のプロンプト)</li> <li>- リモートコントロール(パスワードを使用)</li> <li>- ファイル転送</li> <li>- VPN</li> </ul>
コンピュータ/パートナーの追加	クリックすると、チャットに参加しているパートナーを[コンピュータ&パートナー]リストに追加できません(リストに存在しない場合)。
プロパティ	クリックすると、パートナーのプロパティが開きます。





## 8.2.8 TeamViewer QuickSupportのカスタムモジュールによる接続前のチャット



チャットウィンドウが配置されたQuickSupportのカスタムモジュール

弊社のWebサイトで顧客向けのTeamViewer QuickSupportのカスタムモジュールを作成し、そこにTeamViewerアカウント情報を追加できます。モジュールの作成時に[パートナーとのチャットを許可]を選択すると、顧客はQuickSupportモジュールの起動後に、まだTeamViewer接続を確立していなくても、チャットダイアログボックスを使用してこちらにメッセージを送信できます。

**例：**規定の時間に顧客にサポートを行うために、このモジュールを顧客に提供します。あいにく顧客は規定の時間の直前に会議を開いています。この場合、顧客は15分後に対応可能になることを知らせるチャットメッセージを送信することができ、こちらからもそのメッセージに返信することができます。

この機能を有効化する方法については、[11.10.1項\(60ページ\)](#)を参照してください。

**注：**[コンピュータ&パートナー]にログインしていない場合(オフライン)またはステータスを[オフラインとして表示]に設定している場合は、顧客のQuickSupportモジュールにはチャットウィンドウは表示されません。






# 9 マルチメディア機能

VoIP、マイビデオ、チャット、電話会議、ファイルボックスなど、リモートコントロールセッションで使用できるマルチメディア機能の概要を説明します。

## 9.1 [セッションリスト]内のオプション

[セッションリスト]ウィジェットでは、接続参加者のTeamViewer IDおよび名前が表示され、以下の機能を使用できます。

機能	説明
	リモートコントロールセッションの方向が入れ替わり、パートナーがこちらのコンピュータを操作できるようになります(この機能は接続の開始側が一度と役割を交代
	リモートコンピュータ上のキーボードとマウスによる入力を許可または禁止します。
	ここで詳細な接続情報を確認できます(10.4項(53ページ)を参照)。また、接続を終了することもできます。[チャットメッセージを送信...]を選択して、[チャット]ウィジェットを開くこともできます。

## 9.2 VoIPを使用してパートナーとの会話

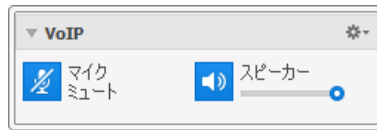
### 9.2.1 音声をパートナーに送信する方法



Voice over IP (VoIP) を使用すると、電話での通話は不要になり、マウスを数回クリックするだけでパートナーとライブで会話することができます。この場合、ヘッドセットの使用をお勧めします。




音声をパートナーに送信するには、以下の手順を実行します。

1. セッション中にリモートコントロールウィンドウで、[音声/動画|VoIP]をクリックします。  
→ [VoIP]ウィジェットが開きます。



2.  アイコンをクリックして、マイクを有効にします。
3. スピーカーとマイクの音量を調整します。
4. マイクを無効にするには、 アイコンを再度クリックします。

## 9.2.2 音声オプション

音声のオプションにアクセスするには、[VoIP]ウィジェットの見出しにある  アイコンをクリックし、[音声設定]オプションを選択します。

→ 音声のオプションが表示されます ([13.6項\(78ページ\)を参照](#))。

## 9.3 パートナーへのWebカム動画の送信

### 9.3.1 動画をパートナーに送信する方法

パートナーが音声だけでなく映像も必要とする場合は、Webカムを使用して動画を送信できます。

以下に、動画をパートナーに送信する手順を示します。

動画をパートナーに送信するには、以下の手順を実行します。

1. セッション中にリモートコントロールウィンドウで、[音声/動画|マイビデオ]をクリックします。  
→ [マイビデオ]ウィジェットが開きます。



2. [共有動画]ボタンをクリックして、Webカム動画の送信を開始します。
3. Webカム動画の送信を停止するには、[動画をオフにする...]ボタンをクリックします。



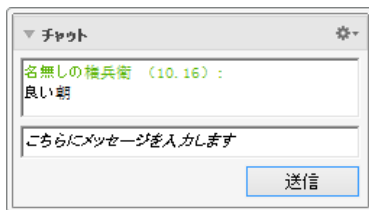
### 9.3.2 動画オプション

動画のオプションを使用すると、カメラの設定を変更できます。これを行うには、ウィジェットの見出しにある アイコンをクリックします。ここでは動画のサイズも変更することができます。

[動画設定]を選択すると、詳細な動画のオプションが表示されます。

→ 動画のオプションが表示されます ([13.7項\(79ページ\)を参照](#))。

## 9.4 TeamViewerセッションでのパートナーとのチャット



[チャット]ウィジェット

[チャット]ウィジェットでは、セッション中にテキストを使用してパートナーと対話できます。

チャットを開始するには、セッション中に[音声/動画|チャット]をクリックします。ウィジェットの見出しにある アイコンをクリックすると、チャットをテキストファイル形式で保存できます。

このウィジェットの機能は、インスタントメッセージプログラムと非常に似ています。

## 9.5 TeamViewerセッションでの電話会議の開催



[電話会議]ウィジェット

参加者がヘッドセットを所持していない場合、VoIPの代わりに電話会議を開催することができます。

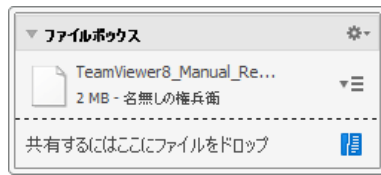
電話会議を開始するには、以下の手順を実行します。

1. セッション中にリモートコントロールウィンドウで、[音声/動画|電話会議]をクリックします。
2. 場所(国)を選択します。
3. 会議用のPINを生成するには、[こちらで検索してください]リンクをクリックします。
4. 国の下に表示されるサービス番号に電話します。  
→ 電話のキーパッドを使用して会議用のPINを入力するように求められます。
5. 会議PINを入力します。
6. 同じPINを使用して電話会議に参加しているすべての参加者に即座に接続されます。

電話会議用の独自のデータを追加するには、 アイコンをクリックして、[電話会議の設定]ダイアログボックスを開き、入力フィールドに目的の情報を入力します。






## 9.6 TeamViewerセッションでのファイルの共有



[ファイルボックス]ウィジェット

セッションの参加者は、[ファイルボックス]ウィジェットを介して相互にファイルを共有できます。

ファイルを共有するには、目的のファイルをウィジェット内にドラッグ&ドロップするか、アイコンをクリックし、Windowsの[ファイルを開く]ダイアログボックスを使用してファイルを選択します。

ファイルを共有したら、そのファイルの横にあるアイコンをクリックしてコンテキストメニューから目的のオプションを選択することで、そのファイルまたはそのファイルを格納するフォルダを開くことができます。リモートコンピュータでは、共有ファイルがウィジェットに表示され、アイコンをクリックしてそのファイルをダウンロードすることができます。

ウィジェットから共有ファイルを削除するには、コンテキストメニューの[ファイルボックスからの削除]オプションを選択します。

ヒント: ウィジェット内でファイルをダブルクリックすると、[開く]または[名前を付けて保存...]オプションにアクセスできます。

## 9.7 音声と動画の送信

TeamViewerを使用して、リモートコンピュータからローカルコンピュータに動画と音声を送信できます。

TeamViewerは高速に動く画像がリモートコンピュータにいつ表示されるかを認識し、それに応じて動画送信を最適化します。たとえば、リモートコンピュータで動画が再生されている場合、その動画を自分のコンピュータにリアルタイムで表示することもできます。

音声送信により、たとえば、リモートコンピュータで再生されているシステム音声や音楽を自分のコンピュータで聴くことができます。

現在のセッション中にリモートコントロールウィンドウで[音声/動画|コンピュータでの音声]オプションを無効にすると、コンピュータ音声の送信を停止できます。あるいは、デフォルトの設定で音声の送信をオフにすることもできます(13.3項(74ページ)を参照)。

動画送信の最適化は、設定で無効にすることができます(13.3項(74ページ)を参照)。

注: 可能な最高品質の送信を実現するには、ローカルネットワーク内の接続または高帯域幅の接続にする必要があります。

注: 最適化された動画送信には、TeamViewerライセンスが必要です。



## 9.8 TeamViewerセッションの記録

リモートコントロールセッションを記録し、動画ファイルとして保存することができます。このファイルは、TeamViewer独自のTVSファイル形式で保存されます。

画面コンテンツとリモートコンピュータの音声、およびWebカム動画とVoIPが記録されます。

**注:** すべてのセッションを自動的に記録するには、メインウィンドウで[その他|オプション]を選択し、[リモートコントロール|リモートコントロールセッションの自動記録]を選択します。これにより手動で記録を開始する必要がなくなります。[詳細]カテゴリのオプションでセッションを記録するディレクトリを指定します。

**注:** リモートコンピュータのWebカム動画とVoIPを記録できるようにするには、個々の接続パートナーが許可する必要があります。

**セッションを記録するには、以下の手順を実行します。**

1. セッション中にリモートコントロールウィンドウで、[その他|レコード|起動]をクリックして記録を開始します。
2. 記録を終了するには、リモートコントロールウィンドウで[その他|レコード|停止]をクリックします。あるいは、TeamViewerセッションを終了します。  
→ 宛先フォルダを選択していなかった場合は、ダイアログボックスが開き、ファイルの保存先を指定するように求められます。

**記録したセッションを再生するには、以下の手順を実行します。**


1. TeamViewerのメインウィンドウのメニューバーで、[その他|記録セッションの再生または変換...]をクリックします。  
→ Windowsの[ファイルを開く]ダイアログボックスが開きます。
2. 目的のファイルを選択します。
3. [開く]ボタンをクリックします。  
→ ビデオクリップがTeamViewerで再生されます。通常の動画ファイルの再生と同様のオプションを使用できます。

**ヒント:** Windowsエクスプローラで動画ファイルをダブルクリックしても動画を再生できません。この場合、TeamViewerが自動的に起動し、記録されたセッションが再生されます。

### 記録したTeamViewerセッションのAVIへの変換

記録したTeamViewerセッションを編集する場合は、AVI動画形式に変換することができます。

**記録したセッションを変換するには、以下の手順を実行します。**

1. 上記の記録したセッションを再生する手順を実行します。
2. [記録セッション]ウィンドウで、アイコンをクリックします。  
→ [開く]ダイアログボックスが開きます。
3. 必要に応じて設定を行います。設定を行うには、ドロップダウンリスト、[設定...]ボタン、または[参照...]ボタンを使用します。



4. **【変換の開始】**ボタンをクリックします。
5. 選択した動画が変換されます。



# 10 その他の機能

## 10.1 アクセス権限-TeamViewerセッションでの操作の制限

注：本項はIT担当者または管理者のみを対象とします。それ以外の読者は本項を読む必要はありません。

### 10.1.1 アクセスコントロール機能

アクセスコントロールにより、TeamViewerセッションで参加者が実行できる操作を制限することができます。

リモートコントロール接続(リモートコントロール、ファイル転送、VPN)用のルールを定義できます。

- **自分のコンピュータに対する操作**(自分のコンピュータに接続する他のパートナーの操作)：  
着信アクセスコントロールでは、自分のコンピュータに接続するパートナーの操作を制限できます。したがって、自分のコンピュータに対して他のパートナーが実行できる操作を制限できます。たとえば、TeamViewerを操作するオプションを無効化できるため、パートナーは設定などを変更できません。着信アクセスコントロールの設定は、後述の発信アクセスコントロールと同等の機能です。
- **相手のコンピュータに対する操作**(リモートコンピュータに接続する場合)：  
発信アクセスコントロールでは、接続を確立したときに実行可能な自分の操作を制限できます。これについては、以下で明確に説明します。

現在のセッションのデフォルトのアクセスモードは、**[その他|オプション]**の**[詳細]**カテゴリ([13.9項\(81ページ\)](#)を参照)から設定できます。あるいは、接続を設定するときにデフォルト以外のモードを選択することができます。

注：以降では、発信リモートコントロールセッションでのアクセスコントロールを設定する方法について説明します。通常、ファイル転送とVPNのアクセス制限も同じですが、オプションの数が少なくなります。

注：着信接続時のアクセスを制限する方法については、[13.9項\(81ページ\)](#)を参照してください。





発信接続に対しては、TeamViewerには以下のアクセスモードが用意されています。

- **[フルアクセス]**: パートナーの確認なしにリモートコンピュータを操作できます。
- **[すべての確認]**: パートナーがTeamViewerのすべての操作を承認する必要があります。したがって、たとえば、パートナーの確認後に最初はデスクトップしか表示されず、以降のリモートデスクトップの操作には、さらに確認が必要になります。
- **[表示]**: パートナーによる確認後にリモートコンピュータが表示され、リモートコンピュータ上でマウスポインタを移動できます。ただし、このモードではリモートコントロールを行うことはできません。
- **[カスタム設定]**: このモードでは各操作を個別に制限することができます ([10.1.2項 \(50ページ\)](#) を参照)。
- **[発信のリモートコントロールセッションの拒否]**: 自分のコンピュータから発信リモートコントロール接続を確立することができません。

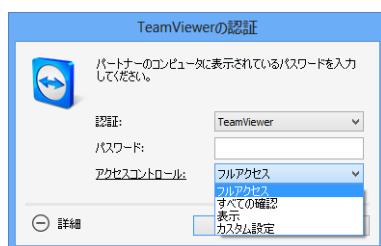
### アクセスコントロールの使用例

アクセスコントロールを柔軟に行います。強固な信頼関係を築いている顧客や自宅のコンピュータに対しては、フルアクセスに設定します。規律の厳しい顧客に対しては、顧客のコンピュータを操作する前に顧客の確認を求めます。

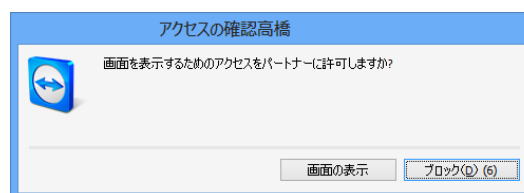
Windows管理者は目的の設定を行い、これをロックします。これはスタッフのアクセスを制限する必要のあるコールセンターやサポートセンターに適した設定です。

**現在のリモートコントロールセッションにのみ適用されるアクセスモードを設定するには、以下の手順を実行します。**

1. [3項 \(11ページ\)](#) の手順1~5を実行します。
2. 認証ダイアログボックスで、**+** **[詳細]** アイコンをクリックします。  
→ 認証ダイアログボックスが展開され、その他のオプションが表示されます。
3. **[アクセスコントロール]** ドロップダウンリストから、目的のアクセスコントロールモードを選択します。
4. **[ログオン]** をクリックします。
5. 接続が確立されます。



認証ダイアログボックスで、現在のセッションのアクセスモードを選択します。



**[すべての確認]** モードでは、パートナーが許可した操作のみ実行できます。

**注:** 接続の確立時にアクセスコントロールオプションを選択しなかった場合、TeamViewerのオプションのデフォルト設定 ([13.9項 \(81ページ\)](#) を参照) が使用されます。

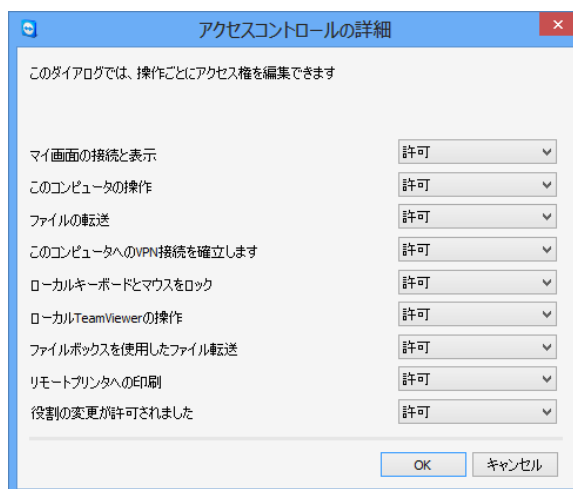


## 10.1.2 アクセスコントロールモードの詳細オプション

10.1.1項 (48ページ)に記載されるアクセスモードには、それぞれ設定の組み合わせに特徴があります。本項では、各モードの設定について説明します。

各アクセスモードに関連付けられているアクセス権を確認するには、以下の手順を実行します。

1. 10.1.1項 (48ページ)の説明に従い、アクセスモードを選択します。
2. [TeamViewerの認証] ダイアログボックスで、[アクセスコントロール] リンクをクリックします。  
→ [アクセスコントロールの詳細] ダイアログボックスが開きます。



[アクセスコントロールの詳細] ダイアログボックスには、選択したモードに固有の設定が表示されます。

TeamViewerのオプションを使用しても、このダイアログボックスを開くことができます。ダイアログボックスを開くには、[その他|オプション]をクリックします。[詳細]カテゴリから[他のパソコンとの詳細な接続設定]に移動し、アクセスモードを選択します。最後に[詳細...]ボタンを押します。

### アクセスモードの設定の概要

本項では、[カスタム設定]モードの選択時に指定できる設定について説明します。

以下の設定は、アクセスコントロールによって管理されます。

設定	説明	指定可能な値
リモート画面の接続と表示	リモートコントロールセッションのリモート画面を即座に表示するか、要求の確認後にのみ表示するかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 許可</li> <li>- 確認後</li> <li>- ブロック</li> </ul>
リモートコンピュータの操作	リモートコンピュータを操作できるかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 許可</li> <li>- 確認後</li> <li>- ブロック</li> </ul>



設定	説明	指定可能な値
ファイルの転送	ファイル転送を許可するかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 許可</li> <li>- 確認後</li> <li>- ブロック</li> </ul>
VPN接続の確立	VPN接続を確立する権限を所有するかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 許可</li> <li>- 確認後</li> <li>- ブロック</li> </ul>
リモートキーボードとマウスをロック	リモートコンピュータ上の入力をブロックできるかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 許可</li> <li>- 確認後</li> <li>- ブロック</li> <li>- セッション開始ごと</li> </ul>
リモートTeamViewerの操作	リモートTeamViewerを操作できるかどうかを指定します (TeamViewerの設定の変更など)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 許可</li> <li>- 確認後</li> <li>- ブロック</li> </ul>
ファイルボックスを使用したファイル転送	[ファイルボックス]ウィジェットを使用したファイルの共有を許可するかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 許可</li> <li>- ブロック</li> </ul>

## アクセスモードとセキュリティ設定の依存関係

発信アクセスコントロールを使用すると、リモートコンピュータへの接続後に使用できるオプションを設定できるため、管理者はスタッフ用の設定を行うことができます。

また、着信アクセスコントロールについては、オプション画面の[セキュリティ]カテゴリから設定できます。

例：TeamViewerの設定により、常にスタッフのコンピュータ上の操作（ファイル転送やリモートコントロールなど）の確認をスタッフに要求します。これを行うには、[アクセスコントロール]（着信）を[すべての確認]に設定します。

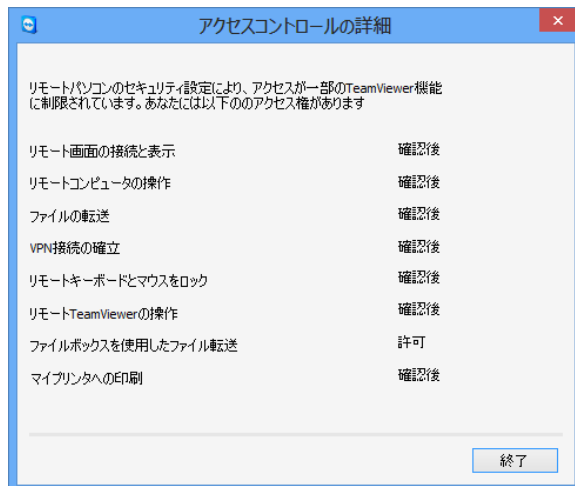
ローカルの発信アクセスコントロールとリモートの着信アクセスコントロールが異なる場合は、最も制約の多い権限が適用されます。

### 使用例

こちらでは[フルアクセス]を選択していますが、パートナーは着信接続に[すべての確認]を選択しています。この場合、すべてのアクションを最初に確認する必要があります。

こちらでは発信接続に[表示]を選択しており、パートナーは着信接続に[フルアクセス]を選択しています。この場合、パートナーの画面の表示のみが可能になります。

**注：**発信側と着信側でアクセス権限が異なる場合は、ダイアログボックスによって通知されます。



接続の確立後、ローカルコンピュータの発信アクセスコントロールとリモートコンピュータの着信アクセスコントロールとの相違点がダイアログボックスに表示されます。

**注：** TeamViewer QuickSupportモジュールでは、アクセス権限は定義できません。

## 10.2 リモートコンピュータでのTeamViewerの更新

**注：** この機能を使用するには、パートナーのコンピュータのTeamViewerをWindowsと一緒に(システムサービスとして)自動的に起動するように設定する必要があります ([12.2項\(66ページ\)](#)を参照)。

リモート更新機能を使用すると、リモートコンピュータのTeamViewerを更新することができます。この機能は、特に無人で稼働するコンピュータ(サーバーなど)のTeamViewerを更新する場合に便利です。

**リモート更新を実行するには、以下の手順を実行します。**

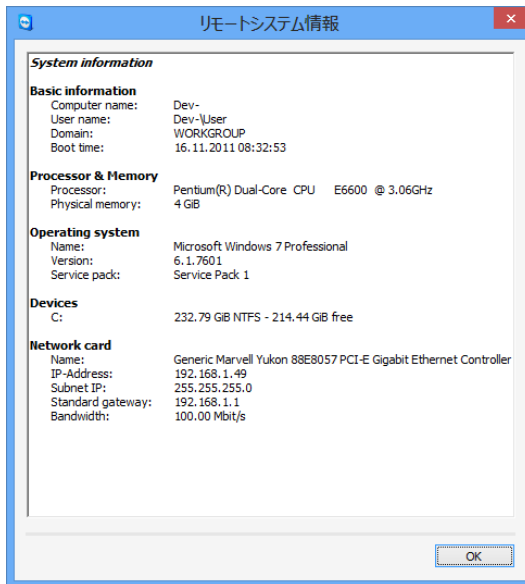
1. リモートコントロールセッションを開始します ([3項\(11ページ\)](#)を参照)。
2. セッション中にリモートコントロールウィンドウで、[その他|リモート更新]をクリックします。  
→ リモートコンピュータで[TeamViewerの更新]ダイアログボックスが開きます。
3. ダイアログボックスの指示に従います。

**注：** リモート更新後、TeamViewer接続は終了します。ただし、リモートコンピュータに自動的に再接続されます。



## 10.3 リモートコンピュータに関する情報の表示

リモートコンピュータのシステム情報を表示することができます。



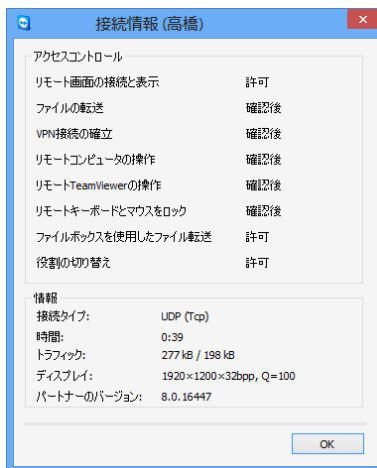
(セッション中に) [リモートシステム情報] ダイアログボックスを開くには、リモートコントロールウィンドウで[その他|リモートシステム情報...]をクリックします。

以下の情報が表示されます。

- パソコン名
- ユーザー名
- ドメイン
- 起動時間
- プロセッサ
- 物理メモリー
- 名前
- バージョン
- サービスパック
- デバイス
- ネットワークカード

[リモートシステム情報] ダイアログボックス(テキスト全体を選択してクリップボードにコピーできます)

## 10.4 現在の接続に関する情報の表示



[接続情報] ダイアログボックス(現在のセッションに関する情報が表示されます)

[接続情報] ダイアログボックスには、現在のセッションに関する情報が表示されます。

(セッション中に) このダイアログボックスを開くには、リモートコントロールウィンドウで[その他|接続情報...]をクリックします。

以下の情報が表示されます。

### アクセスコントロール

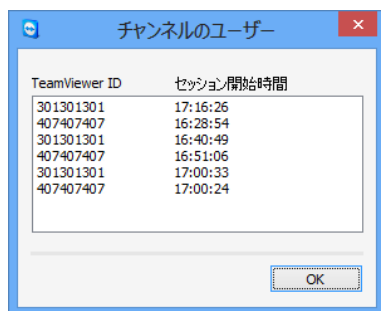
- [アクセスコントロール] エリアには、現在の接続に対して有効なアクセスコントロールの設定が表示されます(10.1項(48ページ)を参照)。

### 情報

- [接続タイプ:] 現在使用されているTeamViewerセッションのプロトコルが表示されます。
- [時間:] セッションの経過時間が表示されます。
- [トラフィック:] 現在のセッションのデータ転送量(アップロード/ダウンロード)が表示されます。
- [ディスプレイ:] リモートコンピュータの画面解像度と色深度に関する情報が表示されます。
- [パートナーのバージョン:] リモートコンピュータにインストールされているTeamViewerのバージョンが表示されます。



## 10.5 ライセンスの使用に関する情報



このダイアログボックスには、セッションの現在のIDが表示されます。

複数チャンネルのライセンスを購入している場合、このダイアログボックスにはライセンスで現在使用されているチャンネルの概要が表示されます。このダイアログボックスには、有効なTeamViewerセッションの現在のTeamViewer IDおよびセッションの開始時間が表示されます。

[チャンネルのユーザー]ダイアログボックスを開くには、メインメニューから[ヘルプ|バージョン情報|チャンネル使用]を選択します。

[チャンネルのユーザー]ダイアログボックスは、セッションを開始する前にチャンネルが使用可能であるかどうかを確認する場合に特に便利です。

## 10.6 リモートコントロールセッションの引き渡し

[追加の参加者を招待する...]機能を使用して、パートナーをリモートコントロールセッションに参加するよう招待することができます。

これにより、手助けが必要な場合に、エキスパートやスペシャリストにリモートコントロールセッションに参加してもらい、助言を求めることができます。また、招待した参加者にリモートコントロールセッションを完全に引き渡すこともできます。

**追加の参加者をリモートコントロールセッションに招待するには、以下の手順を実行します。**

1. セッション中に[リモートコントロール]ウィンドウで、[その他|追加の参加者を招待する...]をクリックします。  
→ [追加の参加者の招待]ダイアログボックスが開きます。
2. パートナーリストから、参加を招待するパートナーを選択します。  
→ パートナーは招待状を受信し、それを確認する必要があります。
3. パートナーが招待状に同意すると、[セッションリスト]ウィジェットに追加の参加者として表示されます。
4. これで両方の参加者が同じ権限でリモートコンピュータを操作できるようになりました。

セッションの開始者として、セッションから退会して参加者にセッションを引き渡すことができます。これを行うには、リモートコントロールウィンドウで✕アイコンをクリックします。次にダイアログボックスで[セッションからの退会]ボタンをクリックします。

すべての参加者に対してセッションを終了したい場合は、リモートコントロールウィンドウで✕アイコンをクリックします。次にダイアログボックスで[セッションの終了]ボタンをクリックします。

**注:** この機能を使用するには、TeamViewerアカウントにログインする必要があります(8.1.3項(29ページ)を参照)。



注：最大参加者数は、ライセンスの種類によって異なります。

注：[コンピュータ&パートナー]リスト内の「パートナーによる接続要求を許可」を有効にしたパートナーのみ招待できます(8.2.5項(37ページ)を参照)。

## 10.7 リモート印刷

[リモート印刷]機能を使用して、リモートコンピュータにあるドキュメントを手元にあるプリンタで直接印刷できます。これにより、ファイルを転送しなくても、リモートコンピュータにあるドキュメントを自分のプリンタで印刷できます。ローカルコンピュータで使用している同じプリンタ(ネットワークプリンタを含む)に、リモートコンピュータからアクセスできます。

**リモート印刷機能を有効にするには、以下の手順を実行します。**

1. セッション中に[リモートコントロール]ウィンドウで、[その他|リモート印刷]をクリックします。  
→ [TeamViewer印刷]ダイアログボックスが開きます。
2. [続行]ボタンをクリックします。  
→ リモートコンピュータに、TeamViewer印刷ドライバがインストールされます。これは1回行うだけで済みます。
3. これでリモート印刷が正常に有効化されました。ローカルコンピュータで使用可能なすべてのプリンタを、リモートコンピュータでも使用できます。

TeamViewerリモート印刷を有効にすると、ローカルコンピュータで使用可能なプリンタを、リモートコンピュータの印刷ダイアログボックスとコントロールパネルで選択できるようになります。TeamViewerリモート印刷プリンタは、**TeamViewer経由**と記されます。

**印刷ジョブを実行するには、以下の手順に従います。**

1. 印刷したいリモートコンピュータ上のドキュメントを開きます。
2. [印刷]ダイアログボックスを開きます。
3. 末尾に**TeamViewer経由**が付いたプリンタを選択します。
4. 印刷ジョブを開始します。
5. ローカルコンピュータの選択したプリンタにドキュメントが出力されます。

注：TeamViewer印刷は[詳細設定]でアンインストールできます(13.9項(81ページ)を参照)。

注：この機能はWindows 2000ではサポートされていません。

注：Windows Vista以降では、TeamViewer印刷プリンタはコントロールパネルで1つのプリンタとしてグループ化されます。その他すべてのTeamViewerプリンタは、コンテキストメニューからアクセスできます。



# 11 TeamViewer モジュール

ここではWebサイトから入手可能な各モジュールの概要を説明します。

入手可能なモジュールの簡単な概要については、<http://teamviewer.com/download>を参照してください。

## 11.1 TeamViewer フルバージョン



TeamViewer フルバージョンのメインウィンドウ

このモジュールで、パートナーに接続して遠隔操作を行うことも遠隔操作を受けることも可能です。

このモジュールの詳細については、[2.2項\(8ページ\)](#)に記載されています。





## 11.2 TeamViewer QuickSupportモジュール



QuickSupportのメインウィンドウ


TeamViewer QuickSupportは、単一の実行ファイル形式のアプリケーションです。このファイルの実行には、ソフトウェアのインストールやWindows/Mac OSの管理者権限は必要ありません。

このモジュールでは、着信のリモートコントロール接続を受け入れることはできますが、こちらから発信接続を確立することはできません。通常、このモジュールは顧客に提供します。

弊社のWebサイトで独自のウェルカムテキスト、会社のロゴ、その他の便利な機能を使用して、TeamViewer QuickSupportのカスタムモジュールを構築することができます ([11.10.1項\(60ページ\)を参照](#))。

### 11.2.1 QuickSupportモジュールのオプション

[プロパティ]ダイアログボックスでは、TeamViewer QuickSupportの設定を行うことができます。

このダイアログボックスにアクセスするには、モジュールの右上にある  アイコンをクリックします。[全般]カテゴリでは、以下のオプションを使用できます。

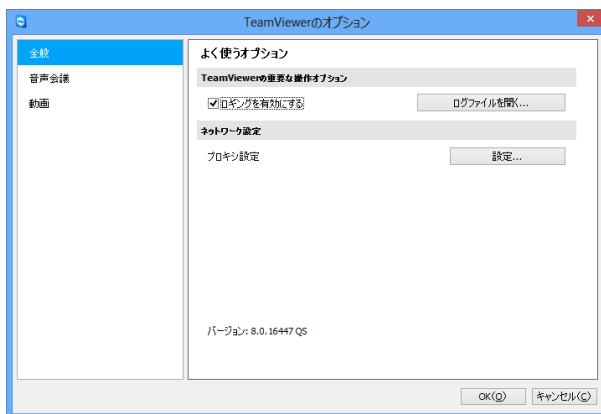
#### TeamViewerの重要な操作オプション

- [ログインを有効にする]: 有効化すると、TeamViewerはすべてのイベントとエラーをログファイルに記録します。
- [ログファイルを開く...]: ログファイルを格納するフォルダを開くには、[ログファイルを開く...]ボタンをクリックします。フォルダを開くと、ログファイルが選択された状態で表示されます。

#### ネットワーク設定

- [設定...]: [13.1項\(70ページ\)](#)を参照してください。

[音声会議]および[動画]カテゴリのオプションについては、[13.6項\(78ページ\)](#)および[13.7項\(79ページ\)](#)に記載されています。



QuickSupportの**設定**ダイアログボックス。

## 11.3 TeamViewer QuickJoinモジュール

TeamViewer QuickJoinは、オンライン会議参加専用開発された単一の実行ファイル形式のアプリケーションです。

弊社のWebサイトで独自のウェルカムテキストやロゴ、その他の便利な機能を使用して、TeamViewer QuickJoinのカスタムモジュールを構築することができます。

このモジュールを使用して会議およびプレゼンテーションを行う方法については、『*TeamViewer 8 Meeting Manual*』を参照してください。

## 11.4 TeamViewer Hostモジュール

TeamViewer Hostは、Windowsシステムサービスとしてインストールされます。TeamViewer Hostをインストールしたコンピュータは、システムの起動直後(Windowsログイン前)にTeamViewerを使用して管理できます。発信接続は実行できません。

トレイアイコンを使用して設定を調整できます。これを行うには、トレイアイコンを右クリックして**[設定]**を選択します。

通常、このモジュールは、常時リモート管理が必要なサーバーまたは無人で稼働するコンピュータにインストールします。

弊社のWebサイトでは、必要に応じて独自のロゴ、テキスト、およびユーザー定義カラーを追加して、TeamViewer Hostの外観をカスタマイズできます ([11.10項 \(60ページ\) を参照](#))。

**注：**トレイアイコンのコンテキストメニューから、TeamViewer Hostを[コンピュータ&パートナー]リストに直接追加することができます。



## 11.5 TeamViewer Portable

TeamViewer Portableは、通常、TeamViewerフルバージョンのすべての機能を実装しますが、インストールする必要がないため、あらゆるデータ記憶媒体 (USBスティックやCDなど) から起動できます。設定の詳細については、ダウンロードパッケージを参照してください。TeamViewer Portableは、TeamViewer PremiumおよびTeamViewer Corporateライセンスに付属します。

## 11.6 TeamViewer Manager

TeamViewer Managerは、コンピュータ、パートナー、顧客を管理できるデータベースアプリケーションです ([コンピュータ&パートナー] に似ています)。さらに、課金などに使用できる広範囲なセッション情報機能を備え、[コンピュータ&パートナー] と同期化することができます。TeamViewer Managerは、TeamViewer PremiumおよびTeamViewer Corporateライセンスに付属します。

詳細については、*TeamViewer Manager* のマニュアルを参照してください。

## 11.7 TeamViewer MSIパッケージ

TeamViewer MSIパッケージは、TeamViewerフルバージョンまたはTeamViewer Hostの代替となる特殊なインストールファイルです。アクティブディレクトリドメインでGroup Policy Object (GPO) を使用してTeamViewerを実装する場合に使用できます。設定の詳細については、ダウンロードパッケージを参照してください。TeamViewer MSIは、TeamViewer Corporateライセンスに付属します。

## 11.8 TeamViewer Management Console

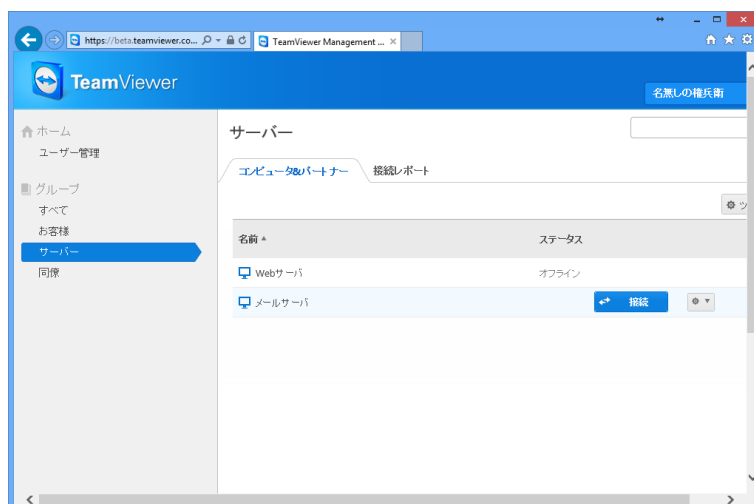
**注:** このモジュールを使用するには、TeamViewerアカウントが必要です ([8.1項 \(28ページ\)](#) を参照)。

TeamViewer Management Consoleは、TeamViewerパートナーの管理とTeamViewer接続のロギング用の、直感的に使用できるウェブベースの管理コンソールです。

Management Consoleを使用して、会社のTeamViewerユーザー全員の管理、新規アカウントの作成、権限とパスワードの管理、個々のパートナーとのグループの共有などを行うことができます。さらに、ブラウザから直接接続を確立し、ログが記録された接続に対して請求を行うことができます。

TeamViewer Management Consoleは、インターネット経由でウェブブラウザを介してアクセスできるため、オペレーティングシステムやプラットフォームに依存せずに呼び出すことができます。ローカルデータベースやMicrosoft SQL Serverは不要です。

TeamViewer Management Consoleおよびその機能についての詳細は、『*TeamViewer 8 Management Console* マニュアル』を参照してください。



TeamViewer Management Consoleは、プラットフォームに依存せずにウェブブラウザで開きます。

## 11.9 モバイルデバイス (Android、iOS) でのTeamViewerの使用

TeamViewerは、モバイルデバイスでも使用できます。

iOSまたはAndroidデバイスを使用してリモートコントロールセッションを開始し、そのデバイスからリモートコンピュータを制御できます。ただし、Windowsバージョンと比較して、使用できる機能の数に制限があります。コンピュータからモバイル機器への着信接続は、TeamViewerQuickSupportアプリを使用して行うことができます。

このアプリは、Android用はGoogle Playから、iOS用はAppleのAppStoreからダウンロードできます。

アプリケーションの詳細については、そのアプリケーションまたは弊社のWebサイト (<http://teamviewer.com/download/mobile.aspx>) を参照してください。

## 11.10 カスタマイズ可能なモジュール

TeamViewerの一部のモジュールは、ニーズに合わせて変更できます。このオプションは、QuickSupport、QuickJoin、Hostの各モジュールで使用できます。

**注:** QuickJoinのカスタムモジュールを作成する方法については、『TeamViewer 8 Meeting Manual』を参照してください。

### 11.10.1 QuickSupportのカスタムモジュールの作成

1つまたは複数のQuickSupportのカスタムモジュールを作成することができます。これにより機能を追加できます(会社のロゴやカラースキームを追加してQuickSupportの外観を変更したり、パートナーを[コンピュータ&パートナー]リストに自動的に表示したりできます)。



**注:** 弊社のWebサイトでQuickSupportのカスタムモジュールを作成するときに、TeamViewerアカウント情報を入力することができます。これにより、顧客がQuickSupportを起動したときに、そのパートナー情報が自動的に[コンピュータ&パートナー]に表示されるため、簡単なマウスのクリック操作だけで顧客と接続できます  
([11.10.1項\(59ページ\)](#)を参照)。

**QuickSupportのカスタムモジュールを作成するには、以下の手順を実行します。**

1. 弊社のWebサイト: <https://www.teamviewer.com/download/customdesign.aspx?module=QuickSupport>にアクセスします。
2. [モジュール]で[QuickSupport]を選択します。
3. [オペレーティングシステム]で、後からQuickSupportを実行するオペレーティングシステムを選択します。
4. [バージョン]でTeamViewerのバージョンを選択します(旧バージョンのライセンスを所持している場合のみ)。
5. ニーズに応じて、プレビューイメージの下の各種オプションを設定します。個々のオプションの詳細については、[次項](#)を参照してください。
6. [QuickSupportの生成]ボタンをクリックします。  
→ QuickSupportモジュールのダウンロードリンクがプレビューイメージの上に表示されます。
7. [TeamViewer QuickSupport実行可能ファイルのダウンロード]リンクをクリックします。これでファイルを顧客に提供できます。



QuickSupportのカスタムモジュール


**注:** このWebサイト上で送信されるすべてのデータは、セキュリティのために暗号化されます(SSlプロトコル)。

**重要:** TeamViewer QuickSupportのカスタムモジュールを制限なしに使用するには、TeamViewerライセンスが必要です。ライセンスがない場合、接続は5分後に自動的に中止されます。

## QuickSupportのカスタム設定

前項の説明のとおり、QuickSupportのカスタムモジュールを作成することができます。以下を設定できます。



設定	説明
言語	次の2つのフィールドの推奨入力言語およびソフトウェアの言語を設定します。
タイトル	ウィンドウのタイトルを編集できます。
テキスト	メインウィンドウのウェルカムテキストを編集できます。
ロゴ	メインウィンドウの上部に表示する独自のロゴを選択します。
テキストの色	テキストの色を編集できます。左側のフィールド内をクリックすると、カラーパレットが表示され、色を選択できます。
背景色	背景の色を編集できます。左側のフィールド内をクリックすると、カラーパレットが表示され、色を選択できます。
ランダムパスワードを使用	このラジオボタンを選択すると、QuickSupportモジュールを起動するたびに、接続を確立するための仮のランダムパスワードが新しく生成されます。
パスワードのセキュリティレベル	仮のパスワードの複雑さを選択できます。
パートナーリストヘユーザーを自動的に追加する	このボックスをオンにすると、QuickSupportモジュールを使用する各ユーザーがQuickSupportモジュールを起動するとすぐに、そのユーザーが[コンピュータ&パートナー]に自動的に表示されます。この機能を使用するには、TeamViewerアカウントのログイン情報に対応するフィールドに入力します。これらのユーザーの[コンピュータ&パートナー]でのグループ名を選択します。カスタマイズされたQuickSupportモジュールのユーザーは、[コンピュータ&パートナー]リストに  アイコンと共に表示されます。  このオプションを使用するには、TeamViewerアカウントを取得済みであることが必要です ( <a href="#">8.1項 (28ページ) を参照</a> )。
パートナーとのチャットを許可	このボックスを選択すると、QuickSupportのカスタムモジュールのユーザーは、セッションを開始する前にチャットメッセージを送信できます ( <a href="#">8.2.7項 (38ページ) を参照</a> )。
設定したパスワードを使用	ランダムパスワードではなく、個人的なパスワードをQuickSupportモジュールに割り当てることができます。ただし、これを使用する場合、[ランダムパスワードを使用]オプションの下にある機能は使用できません。
起動時に免責事項を表示する	ここにはTeamViewer QuickSupportの起動前に表示する免責事項を入力できます。ユーザーがTeamViewer QuickSupport実行するには、この免責事項に同意する必要があります。



## 11. 10. 2Hostのカスタムモジュールの作成

1つまたは複数のTeamViewer Hostモジュールを作成し、機能を追加することができます(会社のロゴやカラスキームを追加して外観を変更したり、コンピュータを[コンピュータ&パートナー]リストに自動的に追加したりできます)。

**注:** 弊社のWebサイトでTeamViewer Hostのカスタムモジュールを作成するときに、TeamViewerアカウント情報を入力することができます。これにより、顧客がTeamViewer Hostを起動したときに、その顧客のTeamViewer ID、パスワード、表示名などの情報を含めて、そのコンピュータを自動的に[コンピュータ&パートナー]リストに追加できるため、簡単なマウスのクリック操作だけで顧客に連絡できます。

**TeamViewer Hostのカスタムモジュールを作成するには、以下の手順を実行します。**

1. 弊社のWebサイト: <https://www.teamviewer.com/download/customdesign.aspx?module=Host>にアクセスします。
2. [モジュール]で[Host]を選択します。
3. [オペレーティングシステム]で、後からTeamViewer Hostを実行するオペレーティングシステムを選択します。
4. [バージョン]でTeamViewerのバージョンを選択します(旧バージョンのライセンスを所持している場合のみ)。
5. ニーズに応じて、プレビューイメージの下の各種オプションを選択します。個々のオプションの詳細については、次項を参照してください。
6. [ホストの作成]ボタンをクリックします。  
→ TeamViewer Hostモジュールのダウンロードリンクがプレビューイメージの上に表示されます。
7. [TeamViewer Custom-Host実行ファイルのダウンロード]リンクをクリックし、ファイルを保存します。これでファイルを顧客に提供できます。



TeamViewer Hostのカスタムモジュール

**注:** このWebサイト上で送信されるすべてのデータは、セキュリティのために暗号化されます(SSLプロトコル)。

**重要:** TeamViewer Hostのカスタムモジュールを制限なしに使用するには、TeamViewerライセンスが必要です。ライセンスがない場合、接続は5分後に自動的に中止されます。



## TeamViewer Hostのカスタム設定

前項の説明のとおり、TeamViewer Hostのカスタムモジュールを作成することができます。  
以下を設定できます。

設定	説明
言語	次の2つのフィールドの推奨入力言語およびソフトウェアの言語を設定します。
タイトル	ウィンドウのタイトルを編集できます。
テキスト	メインウィンドウのウェルカムテキストを編集できます。
ロゴ	メインウィンドウの上部に表示する独自のロゴを選択します。
テキストの色	テキストの色を編集できます。左側のフィールド内をクリックすると、カラーパレットが表示され、色を選択できます。
背景色	背景の色を編集できます。左側のフィールド内をクリックすると、カラーパレットが表示され、色を選択できます。
コンピュータをパートナーリストに自動的に追加します。	このボックスをオンにすると、TeamViewer Hostモジュールがインストールされているすべてのコンピュータが、[コンピュータ&パートナー]に自動的に追加されます。この機能を使用するには、TeamViewerアカウントのログイン情報を対応するフィールドに入力します。これらのコンピュータの[コンピュータ&パートナー]リストでのグループ名を選択します。このオプションを使用するには、TeamViewerアカウントを取得済みであることが必要です ( <a href="#">8.1項(28ページ)を参照</a> )。





# 12 インストールと設定

ここでは、TeamViewerフルバージョンのインストールおよび設定の手順について説明します。ソフトウェアをインストールする前に、弊社のWebサイトからフルバージョンをダウンロードする必要があります。

これを行うには、<http://www.teamviewer.com/download> にアクセスして、セットアップファイルをコンピュータに保存します。

10.6項 (54ページ) の説明に従い、他のモジュールを使用する場合は、本項を読む必要はありません。

## 12.1 TeamViewerフルバージョンのインストール

ダウンロードしたセットアップファイルを実行します。インストールウィザードの指示に従い、インストール処理を行います。

### 1. TeamViewerへようこそ

インストールを続行するには、[次へ] ボタンをクリックします（[詳細設定の表示] ボックスをオンにしない場合は、手順5、6、7、8はスキップされます）。

### 2. 環境

TeamViewerの用途が商用（サポート、ホームオフィス、同僚とのデスクトップシェアリング、会議など）であるのか、または個人使用（友人、親戚、自分のコンピュータとの接続など）であるのかを選択します。両方の用途に使用する場合は、[上記の両方] オプションを選択します。[次へ] をクリックします。

### 3. 利用規約

利用規約を読み、[このライセンス契約書に同意します] ボックスをオンにします。手順2で個人使用を選択した場合、[非商用で個人使用の場合のみTeamViewerを使用することに同意します] ボックスをオンにして、ライセンス契約の内容を確認してください。[次へ] をクリックします。

### 4. インストールの種類を選択

TeamViewerを毎回手動で起動する場合は、[いいえ（デフォルト）] を選択します。TeamViewerをシステムサービスとしてインストールする場合は、[はい] を選択します。詳細については、12.2項 (66ページ) を参照してください。[はい] を選択した場合は、ウィザードの指示に従い、TeamViewerをシステムサービスとして設定します。[次へ] をクリックします。



5. **アクセスコントロール**  
パートナーの接続時に自分のコンピュータへのフルアクセスを与える場合は、**[フルアクセス (推奨)]**オプションを選択します (デフォルト)。**[すべての確認]**を選択した場合、ローカルコンピュータでのTeamViewerのすべての操作を確認する必要があります。詳細については、[10.1項 \(48ページ\)](#)を参照してください。**[次へ]**をクリックします。
6. **VPNアダプターのインストール**  
TeamViewer VPNを使用する場合、**[TeamViewer VPNの使用]**ボックスをオンにします。詳細については、[6項 \(23ページ\)](#)を参照してください。**[次へ]**ボタンをクリックします。
7. **インストール先を選んでください。**  
TeamViewerをインストールするフォルダを選択します。**[次へ]**をクリックします。
8. **スタートメニューフォルダを選んでください。**  
TeamViewerのショートカットを保存するWindowsの**[スタート]**メニュー内のフォルダを選択します。**[完了]**をクリックして、インストールを完了します。
9. **TeamViewerのインストールが完了します。**

注：一部のオプションは、Windowsの管理者権限がないと使用できません。

## 12.2 WindowsシステムサービスとしてのTeamViewer

### 12.2.1 WindowsアプリケーションとWindowsシステムサービスとの相違点

インストールプロセス中に、または後からオプションで、TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定することができます。本項では、TeamViewerを通常の実行する場合とWindowsシステムサービスとして実行する場合の相違点について説明します。

#### TeamViewerをWindowsアプリケーションとしてインストールする場合

- リモートコントロールセッションや会議を開始するために、TeamViewerを手動で起動する必要があります。
- TeamViewerウィンドウを閉じると、TeamViewerを介してコンピュータにアクセスできなくなります。
- TeamViewerを起動するたびに、仮のパスワードが新しく生成されます。つまり、TeamViewer IDおよびこのセッションパスワードを知るパートナーしかコンピュータにアクセスできません。起動のたびにパスワードが変更されるため、以前にコンピュータに接続したことのあるパートナーでも、こちらから新しいパスワードを通知するまでは接続できません。したがって、どのパートナーでもコンピュータを永続的に操作することはできません。

#### TeamViewerをWindowsシステムサービスとしてインストールする場合

- TeamViewerはWindowsと一緒に自動的に起動します。
- TeamViewerは、Windowsセッション全体を通して実行されます。
- Windowsログイン前でも、TeamViewerを介してコンピュータにアクセスできます。



- コンピュータの電源が入っていれば、いつでもそのコンピュータにアクセスできます。ただし、コンピュータがスタンバイモードまたはアイドル状態の場合を除きます。
- コンピュータへの継続的なアクセスおよび発信接続の確立が可能になります。

## 12.2.2 TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定する方法

インストールプロセスでTeamViewerをWindowsと一緒に(システムサービスとして)自動的に起動するように設定しなかった場合、以下の手順を実行することで、後からいつでもWindowsシステムサービスとして設定できます。

**TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定するには、以下の手順を実行します。**

1. TeamViewerを起動します。
2. メインメニューの[その他|オプション]をクリックします。
3. [全般]カテゴリを選択します。
4. [Windowsと同時にTeamViewerを起動]オプションを選択します。  
→ ウィンドウが開き、パスワードの入力を求められます。
5. [パスワード]フィールドおよび確認フィールドにセキュアなパスワードを入力します。
6. [OK]ボタンをクリックします。
7. [パーマネントアクセスを有効にする]ダイアログボックスで[OK]をクリックします。
8. これでTeamViewerはWindowsと同時に自動的に起動するように設定されました。

**注意:** Windows 7およびWindows Vistaでは、TeamViewerサービスが常時稼働します。このサービスを手動で停止しないでください! このサービスは、TeamViewerをWindows 7およびWindows Vistaに最適化するために使用されます。

**注:** TeamViewer Hostは常にWindowsシステムサービスとしてインストールされます。

## 12.3 ターミナルサーバーでのTeamViewerの使用

本項では、TeamViewerをターミナルサーバーで使用方法について説明します。これは主に会社のネットワーク管理者向けです。**個人ユーザーの場合は、本項を読む必要はありません。**

TeamViewerをターミナルサーバーで実行すると、すべてのユーザーが同じようにTeamViewerにアクセスできます。各ユーザーに個別のTeamViewer IDを割り当てることで、サーバー自体ならびに個々のユーザーがそれぞれ独立してTeamViewerを使用できます。これを行うには、TeamViewerをターミナルサーバーにインストールしてから、以下の手順を実行するだけです。

**ターミナルサーバーでマルチユーザーサポートを有効化するには、以下の手順を実行します。**

1. ターミナルサーバー(コンソール)でTeamViewerを起動します。
2. メインメニューの[その他|オプション]をクリックします。  
→ [TeamViewerのオプション]ダイアログボックスが開きます。



3. [詳細]カテゴリを選択します。
4. [詳細オプションを表示]ボタンをクリックします。
5. [強化されたマルチユーザーサポート(ターミナルサーバ向け)]オプションを選択します。
6. [OK]ボタンをクリックします。  
→ 各ユーザーは個別のTeamViewer IDを受け取ります。

これ以降は、ログインする場所に関係なく、個人のTeamViewer IDがTeamViewerのメインウィンドウに表示されます。メインウィンドウで[ヘルプ|バージョン情報]を選択すると、ユーザーIDの他にサーバーIDも表示されます。コンソールのサーバーIDは、いつでもアクセスすることができ、このサーバーに物理的にログオンしているユーザーに対応します。TeamViewer IDの詳細については、[2項\(8ページ\)](#)を参照してください。



[バージョン情報]ダイアログボックスに表示されるユーザーIDとサーバーID

**注:** TeamViewerは、ターミナルサーバーのすべてのユーザーアカウントを個別のワークステーションとして扱います。これは特にライセンス供与に関連します([12.4項\(68ページ\)](#)を参照)。

### 12.3.1 ターミナルサーバーを使用する場合のTeamViewerの特別なライセンス条件

TeamViewerは、ターミナルサーバーの各ユーザーアカウントを個別のワークステーションとして管理するため、すべてのユーザーにライセンスを供与する必要があります。したがって、無制限のインストールライセンス(PremiumまたはCorporateライセンス)を推奨します。コンソールまたはユーザーセッションで下記の手順に従い、ライセンスを有効化できます。有効化すると、それ以降はすべてのユーザーアカウントおよびターミナルサーバー(コンソール)に対してライセンスが自動的に有効化されるため、ライセンスを有効化する必要があるのは1回のみです。ただし、ユーザーセッションでシングルユーザーライセンスを有効化することで、必要に応じて個別のライセンスを個々のユーザーに発行することもできます。

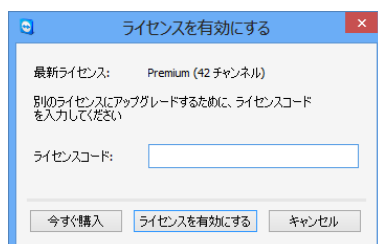
## 12.4 TeamViewerライセンスの有効化

個人ユーザーは、TeamViewerの無料版を使用できます。商用使用の場合、弊社のオンラインショップ(<http://www.teamviewer.com/licensing/index.aspx>)でライセンスを購入し、TeamViewerでライセンスキーを使用してライセンスを有効化する必要があります。



TeamViewerライセンスを有効化するには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerを起動します。
2. メインメニューから[その他|ライセンスを有効にする]をクリックします。
3. ライセンスキーを[ライセンスコード]フィールドに入力します。
4. [ライセンスを有効にする]ボタンをクリックします。
5. これで、TeamViewerライセンスが有効になります。



[ライセンスを有効にする]ダイアログボックス。

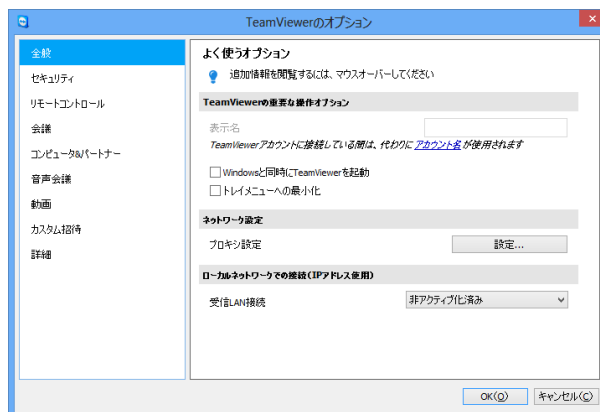
**注：** TeamViewerのPremiumライセンスまたはCorporateライセンスを所持している場合、それをTeamViewerアカウントにリンクすることができます ([13.5項\(76ページ\)](#)を参照)。



# 13 オプション

オプションにアクセスするには、TeamViewerのメインウィンドウで[その他|オプション]をクリックします。[TeamViewerのオプション]ダイアログボックスが開きます。ここでは左側に表示されるカテゴリについて説明します。

## 13.1 [全般]カテゴリ



[全般]カテゴリには、よく使用する設定が含まれます。

[全般]カテゴリでは、基本的なオプションを設定します。

### TeamViewerの重要な操作オプション

**表示名** ここには氏名または会社名を入力します。このテキストは、リモートコンピュータのリモートコントロールウィンドウおよびチャットウィンドウのタイトルバーに表示されます。  
TeamViewerアカウントにログインした場合は、この代わりにアカウントの表示名が使用されます。

**Windowsと同時にTeamViewerを起動** インストールプロセスでTeamViewerをWindowsと一緒に起動するように設定しなかった場合、このチェックボックスをオンにすると、TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定できます。TeamViewerはWindowsと一緒に自動的に起動します。これにより、Windowsにログインする前にTeamViewerが起動します。



## TeamViewerの重要な操作オプション

**トレイメニューへの最小化** TeamViewerを閉じると、TeamViewerがトレイメニュー (Windowsタスクバーの通知領域) に最小化されます。その後、システムトレイのTeamViewerアイコンを右クリックして、TeamViewerをシャットダウンすることができます。

## ネットワーク設定

**プロキシ設定** [設定...] ボタンをクリックすると、[プロキシ設定] ダイアログボックスが開きます。

## ローカルネットワークでの接続 (IPアドレス使用)

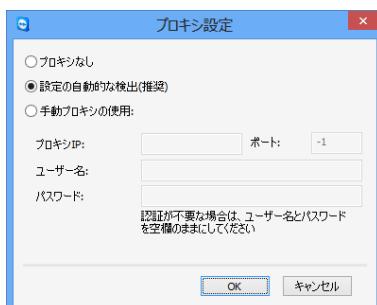
**受信LAN接続** 以下のオプションから選択できます。

- **[非アクティブ化済み]**: LAN接続を禁止します。
- **[同意]**: 受信LAN接続をポート5938経由で受け入れます ([7.1項 \(25ページ\)](#) を参照)。
- **[同意のみ]**: TeamViewerサーバーへの接続を確立せず、TeamViewerはIPアドレスまたは対応するコンピュータ名を介してのみ使用できます。

## [プロキシ設定] ダイアログボックス

ほとんどの場合は、デフォルト設定 (Webブラウザのプロキシ設定を使用) で十分です。ブラウザからインターネットを利用できない場合などには、カスタム設定を使用できます。

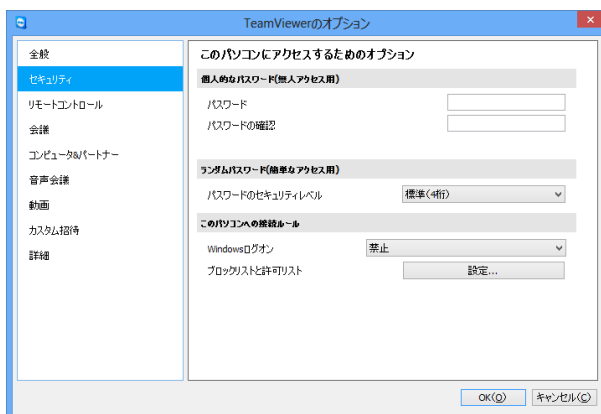
- **[プロキシなし]**: インターネットに直接接続する場合は、この設定を使用します。
- **設定の自動的な検出 (推奨)**: TeamViewerがインストールされたプロキシを自動的に検索して使用する場合はこの設定を使用します。
- **[手動プロキシの使用:]** プロキシサーバー情報を手動で入力する場合は、この設定を使用します。



[プロキシ設定] ダイアログボックスでは、プロキシサーバーを経由したインターネットへのアクセスを設定できません。



## 13.2 [セキュリティ]カテゴリ



セキュリティの設定。

[セキュリティ]カテゴリでは、セキュリティに関連する重要なすべての設定を行うことができます。

### 個人的なパスワード(無人アクセス用)

**パスワード** パスワードを入力すると、コンピュータへのアクセス用にランダムに生成される仮のパスワードの代わりに、そのパスワードをいつでも使用できます。

### ランダムパスワード(簡単なアクセス用)

**パスワードのセキュリティレベル** ここでは、TeamViewerを起動するたびにランダムに生成される仮のパスワードの安全性(複雑さ)を選択できます。

- **[標準(4桁)]**: パスワードは4桁の数字で構成されます。
- **[安全(6文字)]**: パスワードは6個の英数字で構成されます。
- **[セキュア(8文字)]**: パスワードは8個の英数字で構成されます。
- **[非常に安全(10文字)]**: パスワードは10個の英数字(特殊文字を含む)で構成されます。
- **[無効化されました(ランダムパスワードなし)]**: ランダムパスワードは生成されません。

**注:** ランダムパスワードオプションを無効化した場合、個人的なパスワードを定義しないと、TeamViewerに接続できなくなります。

**注:** [全般]カテゴリで[Windowsと同時にTeamViewerを起動]ボックスをオンにした場合、ランダムパスワードのセキュリティレベルは自動的に[安全(6文字)]に設定されます。

**注:** 安全なパスワードを使用してWindowsへのすべてのログインを保護してください。





## このパソコンへの接続ルール

**Windows ログオン** このドロップダウンリストでは、リモートTeamViewerからこちらのコンピュータへの接続に、TeamViewerのパスワードの代わりにWindowsログイン情報を使用することを許可するかどうかを選択できます。

- **[禁止]**: デフォルト設定。認証は、ランダムパスワードまたは個人的なパスワードのいずれかを使用して行います。
- **[管理者のみ許可]**: コンピュータに接続するパートナーは、認証のためにコンピュータのWindows管理者のログイン情報を入力する必要があります。
- **[すべてのユーザーで許可]**: コンピュータに接続するパートナーは、コンピュータのWindowsアカウントのログイン情報を入力する必要があります。

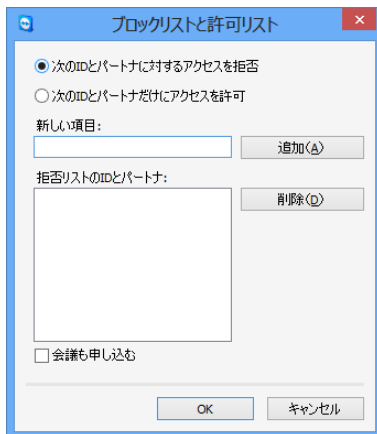
**ブロックリストと許可リスト** **[ブロックリストと許可リスト]**ダイアログボックスを開くには、**[設定...]**ボタンをクリックします。  
このダイアログボックスでは、ローカルコンピュータへのアクセスを許可(許可リスト)または拒否(ブロックリスト)するTeamViewer IDまたはTeamViewerアカウントを指定できます。

TeamViewer IDを許可リストに追加すると、これらのIDのみがコンピュータに接続できます。その他のすべてのIDは拒否されます。TeamViewerアカウントを許可リストに追加することもできます。つまり、どのコンピュータからTeamViewerアカウントにログインした場合でも、そのアカウントが許可リストに登録されているコンピュータには、いつでもアクセスできます。

ブロックリストを使用すると、特定のパートナーによるローカルコンピュータへの接続を防止できます。ブロックリストに登録されたTeamViewer IDおよびTeamViewerアカウントは、コンピュータに接続できません。

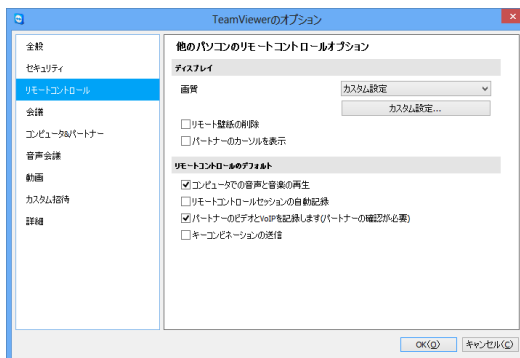
**[会議も申し込む]**チェックボックスを有効にすると、これらの設定が会議にも適用されます。これにより、許可リストにあるIDのみが会議に参加できるか、拒否リストにあるIDが会議に参加できないように除外されます。

**注:** ブロックリストに登録されたパートナーに対するTeamViewerの発信セッションは依然として確立することができます。



【ブロックリストと許可リスト】ダイアログボックス

## 13.3 【リモートコントロール】カテゴリ



【リモートコントロール】カテゴリでは、画質、セッションの記録、その他のコンピュータへの接続に関連するすべての設定を行うことができます。

【リモートコントロール】カテゴリでは、リモートコントロールセッションの事前設定を行うことができます。このダイアログボックスの設定は、以降のすべてのリモートコントロールセッションに適用されます。

### ディスプレイ

**画質** 以下から選択できます。

- **【自動画質選択】**: 使用可能な帯域幅に応じて画質と転送速度を最適化します。
- **【画質の最適化】**: 画質を最適化します。
- **【速度の最適化】**: 画質を低下させることで接続速度を最適化します。
- **【カスタム設定】**: これを選択すると、**【カスタム設定...】**ボタンが有効化されます。このボタンをクリックすると、**【カスタム設定】**ダイアログボックスが開きます。

**リモート壁紙の削除** TeamViewerセッション中は、リモートコンピュータの壁紙が表示されなくなります。これにより、データ転送量が減少し、接続速度が最適化されます。TeamViewerセッション中にリモートコントロールウィンドウで、このオプションをオンにすることもできます。



## ディスプレイ

**パートナーのカーソル** パートナーのマウスの動作がデスクトップ上にグラフィカルに表示されます。TeamViewerセッション中にリモートコントロールウィンドウで、このオプションをオンにすることもできます。

## リモートコントロールのデフォルト

**コンピュータでの音声と音楽の再生** リモートコンピュータの音声 ローカルコンピュータに送信されます (9.7項(45ページ)を参照)。

**リモートコントロールセッションの自動記録** すべてのTeamViewerセッションが自動的に記録されます。

**パートナーの動画とVoIPを記録します (パートナーの確認が必要)** 接続パートナーのWebカム動画とVoIPを記録してよいかどうかを接続パートナーが決定できます。無効にすると、リモート画面と自分のWebカム動画とVoIPのみが記録されます。

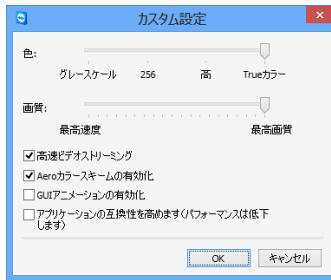
**キーコンビネーションの送信** キーコンビネーション (ALT+TABなど) はデフォルトでリモートコンピュータに送信され、ローカルでは実行されません (キーショートカット: ROLL)。

## [カスタム設定] ダイアログボックス

[カスタム設定] ダイアログボックスを開くには、[画質] ドロップダウンリストから [カスタム設定] を選択し、[カスタム設定...] ボタンをクリックします。

以下のオプションを使用できます。

- **[色:]** 目的の色深度を設定します。色が多くなるほど、必要な帯域幅が多くなります。色深度を減らすことで、パフォーマンスを高めることができます。
- **[画質:]** 画質を設定します。[高] または [Trueカラー] の色モードを使用し、画質のコントロールスライダを左端まで移動すると、**最高速度** の圧縮が実行されてデータ量が最小限に抑えられます。
- **高速ビデオストリーミング:** ビデオ送信を最適化します。可能な最高品質の送信を実現するには、ローカルネットワークまたは高帯域幅の接続にする必要があります。
- **Aeroカラースキームの有効化:** リモートのWindows Vista / Windows 7オペレーティングシステムでAero Glassを有効にします。
- **GUIアニメーションの有効化:** アニメーションを(たとえば、ウィンドウを閉じているときに)表示します。
- **[アプリケーションの互換性を高め (パフォーマンスは低下します)]:** 旧式のWindowsアプリケーションとの互換性が向上しますが、パフォーマンスは低下します。

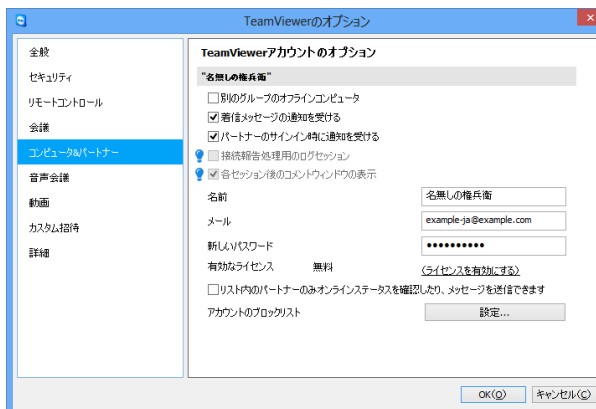


【カスタム設定】ダイアログボックスでは、画質のオプションを設定できます。

## 13.4 [会議]カテゴリ

【会議】カテゴリでは、TeamViewerの会議モード用の事前設定を行うことができます。このダイアログボックスの設定は、すべての会議に適用されます。詳細については、『*TeamViewer 8 Meeting Manual*』を参照してください。

## 13.5 [コンピュータ&パートナー]カテゴリ



ここでは、TeamViewerアカウントの管理と[コンピュータ&パートナー]の追加設定を行うことができます。

TeamViewerのアカウント管理で、追加オプションが提供されます。

### アカウント設定(グローバル設定)

#### 別のグループのオフラインコンピュータ

すべてのオフラインコンピュータが個別のグループに編成されます。

#### 着信メッセージの通知を受ける

パートナーから着信チャットメッセージが届いた場合に簡単な通知を受け取ります。この通知は、画面の右下隅にポップアップウィンドウとして表示されます。



## アカウント設定(グローバル設定)

**パートナーのサインイン時に通知を受ける** いずれかのパートナーがTeamViewerアカウントにログインするたびに、簡単な通知を受け取ります。この通知は、画面の右下隅にポップアップウィンドウとして表示されます。

**接続報告処理用のログセッション** TeamViewer Management ConsoleですべてのTeamViewerセッションのログを記録します。詳細については、『*TeamViewer 8 Management Console マニュアル*』を参照してください。

**各セッション後のコメントウィンドウの表示** TeamViewerセッションの終了後に、各セッションにコメントを追加できます。TeamViewer Management Consoleで対応するセッションにコメントが追加されます。詳細については、『*TeamViewer 8 Management Console マニュアル*』を参照してください。

**注:** この機能を使用するには、TeamViewerアカウントにログインして会社プロフィールのメンバーになる必要があります。

**名前** TeamViewerセッションでパートナーに表示する名前を入力します。この名前は、TeamViewerアカウントにログインするたびに表示されます。この名前は、チャットウィンドウおよびリモートコントロールウィンドウに表示されます。

**メール** メールアドレスを変更する場合に、新しいメールアドレスを入力します。現在のメールアドレスを変更する場合にのみ入力してください。

**新しいパスワード** TeamViewerアカウントの現在のパスワードを変更する場合に、新しいパスワードを入力します。

**有効なライセンス** PremiumライセンスまたはCorporateライセンスを所持している場合、それをTeamViewerアカウントにリンクすることができます。これを行うには、[ライセンスを有効にする]リンクをクリックし、ライセンスキーを入力します。次に、[ライセンスを有効にする]をクリックします。ライセンス供与されていないTeamViewerインストールを操作する場合でも、アカウントにログインすると常にこのライセンスが有効になります。

**リスト内のパートナーのみオンラインステータスを確認したり、メッセージを送信できます** [コンピュータ&パートナー]リスト内のパートナーにのみ、こちらのオンライン状態を表示します。さらに、これらのパートナーだけがこちらにメッセージを送信できます。

**アカウントのブロックリスト** ここでは、他のユーザーのTeamViewerアカウントの拒否リストを設定できます。ユーザー名を追加すると、そのユーザーにはこちらのオンライン状態が表示されなくなり、そのユーザーからのチャットメッセージも受信されなくなります。



## アカウント設定(グローバル設定)

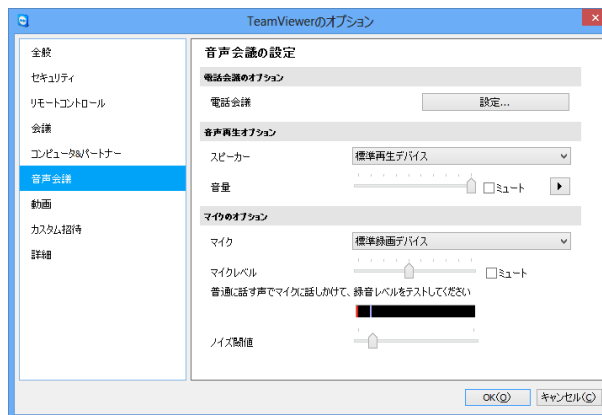
**アカウントの削除 (Webブラウザでのみ使用可能)** TeamViewerアカウントを完全に削除する場合は、**[アカウントの削除]**をクリックします。本当にアカウントを削除するかどうかを、もう一度たずねられます。

**注:** アカウントを削除すると、**[コンピュータ&パートナー]**リストも完全に削除されます。

**注:** **[ローカル設定]**で指定したすべての設定は、現在使用しているコンピュータ (TeamViewer Management Consoleの場合は**[コンピュータ&パートナー]**)に対してのみ保存されます。**[アカウント設定]**エリアの設定は中央に保存され、TeamViewerアカウントにログインすると同時にすべてのコンピュータに適用されます。

**注:** このカテゴリの拒否リストは、**[コンピュータ&パートナー]**の各機能にのみ適用されます。つまり、ブロックリストに登録されているTeamViewerアカウントはローカルコンピュータに関するメッセージを送ることができませんが、依然として他の接続方法を使用してローカルコンピュータに接続することは可能です。TeamViewer IDまたはアカウントからのコンピュータへの接続を防止する場合は、**[セキュリティ]**カテゴリのブロックリストと許可リストの機能を使用してください ([13.2項 \(72ページ\) を参照](#))。

## 13.6 [音声会議]カテゴリ



音声会議の設定

**[音声会議]**カテゴリでは、VoIP接続および電話会議接続の設定とテストを行うことができます。

### 電話会議のオプション

**電話会議** 電話会議用の独自のデータを保存するには、**[設定...]**ボタンをクリックします。



## 音声再生オプション

**スピーカー** ドロップダウンリストから、VoIP接続時に音声を出力するデバイスまたはスピーカーを選択します。

**音量** スピーカーの音量を調整できます。再生ボタンをクリックして音声を再生し、音量の設定を確認できます。

**ミュート(スピーカー)** スピーカーを消音状態(ミュート)に設定します。

## マイクのオプション

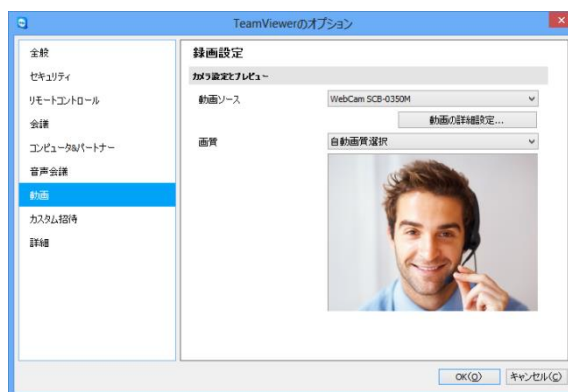
**マイク** ドロップダウンリストから、VoIP接続時に使用する録音用のデバイスまたはマイクを選択します。

**マイクレベル** マイクの音量を調整できます。

**ミュート(マイク)** マイクを消音状態(ミュート)に設定します。

**ノイズ閾値** あらゆるレベルのバックグラウンドノイズを除去できます。バックグラウンドノイズを除去しない場合は、スライダを左に移動します。大部分のバックグラウンドノイズを除去する場合は、スライダを右に移動します。

## 13.7 [動画]カテゴリ



動画設定

[動画]カテゴリでは、Webカムを選択してその画質をテストできます。また、ビデオドライバの設定を行うこともできます。



## カメラ設定とプレビュー

**動画ソース** ドロップダウンリストから、ビデオ会議で使用する動画ソースを選択します。カメラは320x240ピクセル以上の解像度をサポートし、DirectShowドライバを実装している必要があります。スムーズな動画機能を実現するには、Webカメラの使用をお勧めします。

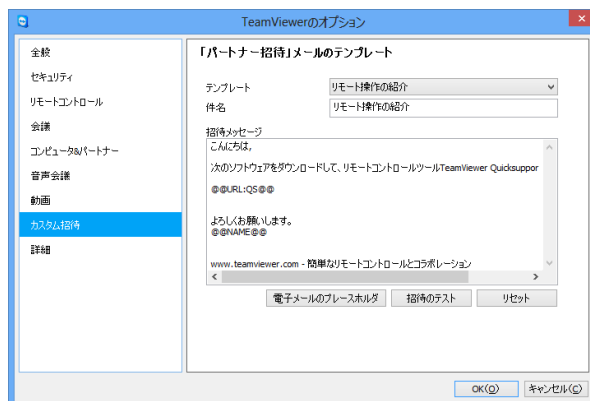
あるいは、動画の代わりに静止画をビデオ会議に使用することもできます。これを行うには、ドロップダウンリストから**[静的な画像]**オプションを選択し、**[画像の選択...]**ボタンをクリックします。

**動画の詳細設定...** Webカムを選択すると、ここで特定のモデルの設定を調整できます。

**画質** 以下のオプションから選択できます。

- **自動画質選択** (自動的に画質と速度を最適なバランスに設定します)
- **画質の最適化**
- **速度の最適化**

## 13.8 [カスタム招待]カテゴリ



ニーズに合わせて、リモートコントロールおよび会議への招待メッセージを作成します。以下のオプションを使用できます。

[カスタム招待]カテゴリでは、カスタム招待メールを作成できます。

### オプション

**テンプレート** ドロップダウンリストから、リモートコントロールセッションまたは会議用の標準の招待メッセージを選択します。

**件名** 招待メールに使用する件名を入力します。





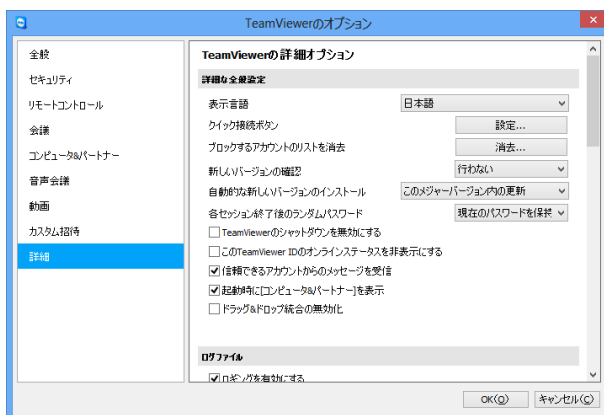
## オプション 説明

**招待メール** 招待メールのテンプレートテキストをカスタマイズします。招待メールを送信する前に確認するには、**[招待のテスト]**ボタンをクリックします。招待メールは、デフォルトのメールプログラムで開かれます。このアプリケーションから直接、電子メールを送信することができます。デフォルトのテンプレートテキストに戻す場合は、**[リセット]**ボタンをクリックします。

**注:** テンプレートテキストにはプレースホルダが含まれます。必要に応じて、プレースホルダを独自のテキストに置き換えることができます。

**注:** TeamViewerから招待メールを生成できるのは、デフォルトのメールクライアントがコンピュータ上に設定されている場合のみです。

## 13.9 [詳細] カテゴリ



**[詳細]** カテゴリでは、TeamViewerの詳細な設定を行うことができます。これを行うには、**[詳細オプションを表示]**ボタンをクリックします。

**[詳細]** カテゴリでは、詳細なオプションを設定できます。

### 詳細な全般設定

**表示言語** TeamViewerの表示言語を選択します。新しい言語設定を適用するには、TeamViewerを再起動する必要があります。

**クイック接続ボタン** **[クイック表示の設定]**ダイアログボックスを開くには、**[設定...]**ボタンをクリックします(このダイアログボックスについては本項の最後に説明します)。

**ブロックするアカウントのリストを消去** ここでは、チャット中にブロックしていたすべてのTeamViewerアカウントをブロック解除できます。ブロックしていたすべてのアカウントをブロック解除するには、**[消去...]**ボタンをクリックします。



## 詳細な全般設定

新しいバージョンの確認	<p>ドロップダウンリストから、TeamViewerで自動的に更新を確認する間隔を選択します。</p> <p>以下の間隔を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- 毎週</li><li>- 毎月</li><li>- 行わない</li></ul>
自動的な新しいバージョンのインストール	<p>ドロップダウンリストで、TeamViewerの新しいバージョンを自動的にインストールするかどうかを選択します。</p> <p>以下のオプションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- <b>すべての更新(新しいメジャーバージョンを含む)</b>: 新しいメジャーバージョンへの更新を含めて、更新を常にインストールします。</li><li>- <b>このメジャーバージョン内の更新</b>: 現在インストールされているメジャーバージョン内の更新のみをインストールします。</li><li>- <b>このメジャーバージョン内のセキュリティ更新</b>: 現在インストールされているメジャーバージョン内の、セキュリティを改善するために必要な更新のみをインストールします。</li><li>- <b>自動的な更新なし</b>: 更新を自動的にインストールしません。</li></ul>
各セッション終了後のランダムパスワード	<p>ドロップダウンリストから、TeamViewerで着信セッション用に新しいランダムパスワードを生成するかどうかを選択します。</p> <p>以下のオプションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- <b>[現在のパスワードを保持]</b>: TeamViewerが再起動されるまで、新しいパスワードを生成しません。</li><li>- <b>[新規に生成]</b>: 各セッションの終了後に新しいパスワードを生成します。</li><li>- <b>[無効化]</b>: ランダムパスワードを一度だけ生成します。</li><li>- <b>[構成の表示]</b>: 各セッションの終了後に新しいパスワードを生成するかどうかを確認します。</li></ul>
TeamViewerのシャットダウンを無効にする	<p>TeamViewerをシャットダウンできないように設定します。これは、管理者として常にコンピュータにアクセスできる状態を確保する必要がある場合などに便利です。</p>
このTeamViewer IDのオンラインステータスを非表示にする	<p>TeamViewer ID(コンピュータ)のオンラインステータスが、[コンピュータ&amp;パートナー]リストに表示されなくなります。</p>
信頼できるアカウントからのメッセージを受信	<p>以前に接続したことのあるアカウントからのチャットメッセージのみが承認または表示されます。</p>
ドラッグ&ドロップ統合の無効化	<p>ドラッグ&amp;ドロップ機能が完全に無効化されます。この場合、ドラッグ&amp;ドロップを使用してファイルを転送することはできません。</p>



## 詳細な全般設定

**起動時にコンピュータ&パートナーを表示** TeamViewerの起動時に、[コンピュータ&パートナー]リストを自動的に開きます。

## ログファイル

**ロギングを有効にする** TeamViewerはすべてのイベントとエラーをログファイルに記録します。

**外部接続ログ** TeamViewerはすべての発信接続に関する情報をログファイルに記録します。TeamViewer Managerを使用する場合は、常にこのオプションをオンにする必要があります。

**内部接続ログ** TeamViewerはすべての着信接続に関する情報をログファイルに記録します。

## このコンピュータとの詳細接続設定

**アクセスコントロール** パートナーがローカルコンピュータに接続するときのアクセスタイプを設定します。

- フルアクセス
- すべての確認
- 表示
- カスタム設定
- 受信のリモートコントロールセッションの拒否

詳細については、[10.1項\(48ページ\)](#)を参照してください。

**ローカルのTeamViewerパネルを自動的に最小化する** ローカルのTeamViewerパネル(不要な場合)を10秒後に画面の端に自動的に最小化します。

**パートナーがWindowsのログオン画面に接続しているときのフルアクセスコントロール** Windowsログオン画面に接続するパートナーには、ローカルコンピュータへのフルアクセス権限が自動的に付与されます。

**自動的な画質を使用するときはAeroカラースキームを無効化します** 着信接続があり、リモートコンピュータで画質が[自動]に設定されている場合に、ローカルコンピュータのAero Glassを無効にします。



## 他のパソコンとの詳細な接続設定

**パートナー入力が無効な場合にブラックスクリーンを有効にする** パートナーの入力を無効化すると、リモートコンピュータの画面が自動的に無効化されます。

**接続パスワードを一時保存** すぐに再接続できるように、TeamViewerをシャットダウンするまでパスワードがデフォルトで保存されます。

**このパソコンではアルファブレンディングは無視する** リモートコンピュータの半透明のウィンドウは通常のウィンドウとして転送されます。

**クリップボードの同期** クリップボードにコピーしたテキストをパートナーも使用できるようになります。

**アクセスコントロール** こちらからパートナーのコンピュータに接続するときのアクセス許可を設定します。

- フルアクセス
- すべての確認
- 表示
- カスタム設定
- 発信のリモートコントロールセッションの拒否

詳細については、[10.1項\(48ページ\)](#)を参照してください。

## 会議の詳細設定

**アクセスコントロール** 会議の参加者のデフォルトの権限を設定します。

- フルアクセス
- 表示
- カスタム設定
- 会議の拒否

詳細については、『TeamViewer 8 Meeting Manual』を参照してください。

## 詳細なネットワーク設定

**TeamViewerサーバー** [TeamViewerサーバー]ダイアログボックスを開くには、[設定...]をクリックします。このダイアログボックスには常駐サーバーを入力できます。

**注意:** TeamViewerのサポートチームから入力を求められた場合を除いては、ここにサーバー名を入力しないでください。



## 詳細なネットワーク設定

**VPNドライバーのインストール** VPNドライバーをインストールする場合は、**[VPNのインストール]**ボタンをクリックします。TeamViewerでVPN接続を確立するには、VPNドライバーが必要です。同じボタンを使用して、VPNドライバーをアンインストールできます。

**モニタードライバーのインストール** TeamViewerのモニタードライバーをインストールする場合は、**[モニタードライバーのインストール]**ボタンをクリックします。**[ブラックスクリーンを表示]**オプションが有効な場合、ブラックスクリーンを問題なく表示するために、モニタードライバーをインストールすることを推奨します ([4.1項 \(12ページ\) を参照](#))。

**プリンタドライバーのインストール** TeamViewerプリンタドライバーをインストールするには、**[インストール…]**ボタンをクリックします。

**UDPの使用（推奨）** TeamViewerで高速のUDP接続の確立が試行されます。

**着信ポート80および443を使用しないでください (Webサーバのみ推奨)。** TeamViewerによるポート80および443のlistenを防止します。この機能は、Webサーバーなどの他のサービスでこれらのポートが必要な場合にのみ無効化してください。

**Outlook用TeamViewer Meeting Add-Inの使用** Microsoft Outlookでボタンを使用して直接ミーティングのスケジュールを作成できます。

## TeamViewerのオプション

**TeamViewer オプションの変更は管理者権限が必要** 管理者権限を持つWindowsユーザーアカウントのみが、TeamViewerのオプションを変更できるようになります。

**セッション記録ディレクトリ** [13.3項 \(74ページ\)](#)に記載される**自動記録**オプションを有効化した場合、セッションの記録を保存するディレクトリを入力できます。

**オプションをパスワードで保護する** TeamViewerのオプションをパスワードで保護する場合、入力フィールドにユーザー定義パスワードを入力します。これ以降は、そのパスワードを入力しないと設定を変更することはできません。



## TeamViewerの オプション

**オプションを  
\*.regファイ  
ルにエクス  
ポート** TeamViewerでは、オプションの設定をレジストリファイルに保存することができます。これにより、設定をその他のTeamViewerインストールに簡単に転送できます。すべてのオプションを\*.regファイルとしてエクスポートするには、[エクスポート...]ボタンをクリックします。

**▲\*.regファ  
イルからオプ  
ションをイン  
ポートする** 保存したTeamViewerのオプションをインポートするには、[インポート...]ボタンをクリックします。

注: \*.regファイルをダブルクリックして、以前にエクスポートしたオプションをインポートしないでください。64ビットシステムでは、この操作によりエラーが発生する可能性があります。

## [クイック表示の設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、クイック接続ボタンに関する各種設定を行うことができます。このボタンはアプリケーションの表示に使用できます。詳細については、『*TeamViewer 8 Meeting Manual*』を参照してください。